

その他の材料を起因物（小）とする死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	業種 (小)	事故の 型	労働 者規 模
2017	1	11～ 12	当社の資材置場で、2人でコンクリートブロックの選別作業をしていた。ミニショベルのバケットに再利用できそうなブロックを積み込んでいたとき、バケット内の割れたブロックを取ろうと手を伸ばした瞬間、もう1人の作業員が入れた40kgくらいのブロックが右手の上に落ちてきた。	61	30199	3	30～ 49
2017	1	9～ 10	店外ゴミ箱の清掃中にゴミを足で踏みつけたため、バランスを失ってそのまま転倒した。	63	80209	2	—
2017	1	11～ 12	工場内の塩ビプレート置き場にて、立てかけてある内側のプレートを取るために押さえていたところ、体勢が崩れてプレートが左脇腹に当たる。	34	30309	3	30～ 49
2017	1	14～ 15	物流倉庫内で玉掛け作業の後、高さ約70cm程の建材製品の上から降りようと、しゃがんだ状態で右足を床に着いた際に右足首を捻挫した。	30	170101	3	—
2017	1	18～ 19	店の裏にあるゴミ置き場にゴミを置きに行った時、お客様用の侵入禁止の横棒に足が引っかかりうつ伏せに倒れ、膝と両手をついた。左手の痛みが引かず、後日に骨折していたことが分かった。	62	80209	2	10～ 29
2017	1	11～	店内にて、ドライブスルー側のマストレーナー前でオーダーを伺っていたとき、オーダー画面の後ろにあるマストレーナーで、別の従業員がグランデサイズ（470ml）のエスプレッソコーヒー	22	140201	11	—

		12	を作成中、温めたミルクが入ったピッチャーを落としてしまい、斜め後ろにいた被災者の臀部と両脚に熱いミルクがかかり受傷した。				
2017	1	14～ 15	カウンター前に段差調整の目的で設置されたプラスチックパレット上で、書類受け渡しが終了し、後へ下がった際、パレットを踏み外し後へ転倒し、右足・右腕を損傷し、捻挫・骨折等が確認された。	48	40301	2	30～ 49
2017	1	16～ 17	木造2階建、解体現場にて、2階ベランダ横のエアコン室外機取り外し作業を行う。取り外しが終了し、室外機台座をベランダに置いたところ、ベランダ床が腐食しており、ベランダ床が抜け、台座（約3kg）が屋根を転がり落下し頭上に落下し、台座が鼻にあたり、鼻骨骨折で全治2週間と診断された。	43	30202	4	—
2017	1	14～ 15	縦1m、横1.8mの長方形の部材を搬入中、2階の足場の上で部材を受け取った作業員が手を滑らし、下で作業をしていた従業員の左手に部材が当たり受傷した。	22	170209	4	50～ 99
2017	1	21～ 22	調理場内で、フライヤーを使用して揚げ物を調理中に、揚げていたニョッキの揚げ具合を確認していた際、ニョッキが弾けてしまい、フライヤーの油が顔に飛び跳ねてかかってしまった。	18	140201	11	10～ 29
2017	1	21～ 22	キッチン内の冷蔵庫へビール瓶を補充している際、左手で持っていたビール瓶が滑り落ちてしまい、コールドテーブルに当たり割れた際、その衝撃で瓶の破片が飛び散り、左手首を切ってしまい、出血した。	23	140201	4	—
2017	1	17～ 18	厨房にて、寸胴鍋を使用して鶏がらのアク出し作業中、煮出したアクの熱湯を水に取り替えようと移動したところ、誤って鍋を床へ落としてしまい、熱湯が両足等に掛かり火傷を負った。	31	140201	11	—
2017	1	22～ 23	営業中、店舗厨房内洗い場にて下げ台の皿をシンク内に移動させようとした際、ひびが入っていたためか皿が割れ、反射的に手を出してしまい、右手首に当たり挫創し、4針縫合した。	21	140201	8	10～ 29

2017	1	2~3	掃除道具を取りに従業員通路（幅150cmほど）の左側を歩いていたとき、折りたたんで左の壁に立て掛けてあった一枚の段ボール（90cm×90cm）に体が触れて、段ボールが床に倒れた。その際、倒れた段ボールを踏んでしまい、バランスを崩して左の壁に左手をつき、そのはずみで体が右へ飛び、右肩を右壁にぶつけた。	54	150101	3	—
2017	1	16~17	駐車場で片付けをしていて、ブロックが落下し、足の甲にあたる。	46	30309	4	1~9
2017	1	16~17	社内工場内で社員が重機（バックホウ）を運転していた際、重機でゴミを挟んだ拍子にゴミの破片が勢いよく飛んでしまい、同じ工場内で作業をしていた被災者（下を向いて作業をしていたため飛んできたゴミ（10cm×10cm程の大きさの塩ビパイプ）を避ける事ができなかった）に当たってしまい負傷した。	46	150102	4	10~29
2017	1	10~11	現場内で、加工途中品（1741mm×120mm、重さ800g）を持って移動中、進路上の足元に置いてあった樹脂パネル（500mm×40mm位）を踏みつけた所、樹脂パネルごと足を滑らせ、横向けに転倒し、左足を強打した。	66	11209	2	100~299
2017	1	23~24	寸胴鍋に豚骨とお湯（スープ）が入っていたものをザルにあげ、豚骨を取り除き濾そうとしたところバランスがくずれ、お湯（スープ）が右足にかかった。	27	140201	11	10~29
2017	1	18~19	勤務先のゴミ収集場に於いて作業中、廃棄用便器が倒れかかり、左手をついて手を痛めた。	75	170201	4	30~49
2017	1	14~15	店舗厨房内で、電気調理器から湯につけたきなこ団子のボウルを作業台へ移動させる時、湯の量が多く左手にかかり火傷した。	44	80201	11	—
2017	1	7~8	牡蠣水揚げ作業中、ワイヤー切断用の鉄バサミを握って作業をしている上に、牡蠣のかたまりが落ちてきて、鉄バサミの板が手のひらにくい込み、腫れ上がった。	28	70209	4	30~49

2017	1	10~ 11	荷卸し先の倉庫内にて、断熱材（60×40×185cm・20kg）100本を手降ろし（5×6本）で組んで積み上げている時、最上段（6段目）に上げる際、腰に痛みがはした。	38	40301	19	10~ 29
2017	1	11~ 12	調理加工課で、作業靴の油を落とす為にお湯を使用する際、別のパート従業員にお湯をかけてもらっていたとき、手元が狂い作業靴の中にお湯が入り、右足を火傷した。	25	10101	11	300 ~ 499
2017	1	11~ 12	部品に穴をあける作業中、エアブローで削った鉄粉を吹き飛ばした際、鉄の切粉が左目に入った。	75	11301	4	100 ~ 299
2017	1	10~ 11	当社資材置場にて在庫整理中、U字溝を同じ大きさに合わせて運び並べていた。その際、先に置いていたU字溝と運んできたU字溝との間に左手人差し指を挟み負傷した。	55	30199	7	1~9
2017	1	11~ 12	社内の作業場で梱包作業中、3m×2m・重さ80kgの枠組を、2人で持ち上げた時、右胸に痛みを感じた。	38	40302	19	30~ 49
2017	2	9~10	カッターでバンドを顔側に切った際に、鼻に軽い切傷と勢いで、左手人差し指、4針を縫う怪我をした。	27	11209	8	1~9
2017	2	15~16	採取場で舗装をしている時、合材が長靴に入り火傷をした。	63	30309	11	—
2017	2	16~17	洗ビン室で作業中、ライン作業が一旦停止となった合間にトイレ休憩し、作業を再開するために作業場所に戻る際に床に置いていたビニールシート（廃材）の端に足を取られ、転倒した。	58	10803	2	30~ 49
2017	2	10~11	木造2階建て住宅建設工事現場で施主と配線打ち合わせ中、石膏ボードを移動しようとしたところ倒してしまい被害者の右足が石膏ボードと床の間に挟まれてしまった。	28	30202	7	30~ 49
2017	2	12~13	店内キッチン洗い場にて、洗浄したグラスを棚に返却しようとした時、棚の上がいっぱいだった為、バランスを崩してグラスが落下した。割れたグラスの破片で左手掌を切傷し、6針縫合した。	20	140201	8	30~ 49
			1階浴室の型枠組みのための床墨出しを行い、作業終了後立ち上が				30~

2017	2	8~9	ろうとした際、突然立て掛けてあったボードが倒れ、下敷きとなった。その後周辺の作業員に救出され病院にて受診する。	58	30201	5	49
2017	2	12~13	コンクリート製品（残材）を整理作業中、コンクリート板を立て移動中にバランスを崩し、L形擁壁との間に指を挟み、右手薬指・第一関節と第二関節の間を裂傷した。	25	30110	7	1~9
2017	2	11~12	被災場所1階の焼肉店の改装工事現場において、コンクリート研りガラの収集作業を行っていた。作業前に再利用する間仕切りパーティション（1800mm×1400mm×80mmのガラス製）の安定度合を左右にゆすり確認を行った後、作業を行っていたが、突然、後方から覆い被さり、下敷きになり被災してしまった。覆い被さって来たガラス製パーティションは、重量200~300kgと思われる。下敷きになった結果、腰椎部分の骨折と肋骨を骨折し全治3ヶ月になるものと思われる。パーティションの固定が甘かった為に倒れたと思われる。	33	30209	5	—
2017	2	14~15	厨房洗い場にてグラスを洗っていた際に、誤って手を滑らせシンクの中にグラスを落としてしまい、グラスが割れ、その破片で右手小指第二関節あたりを切り、伸筋腱を損傷した。	21	140201	8	10~29
2017	2	11~12	GH改修工事のA棟3階廊下で、カーペット撤去後の床に付着していた接着剤のケレン作業で壁に立て掛けて仮置きされていたパーティクルボード（1800×600×20、約15kg）4枚をずらして横移動しようとしたところパーティクルボードが倒れ、右大腿部の膝上に角が当たり挫創した。	62	30209	5	1~9
2017	2	9~10	調理室内で炊き上がった大釜をテーブルへ移動している途中、前から歩いて来たスタッフを避けた際、開いていた調理器具乾燥機の扉を持っていた大釜との間に手を挟んでしまい左示指を切創したとの報告を受けた。	67	130101	3	300~499
2017	2	6~7	被災者は工場内において、ガラスの洗浄中に、手を滑らし指をガラスに強く接触させてしまい、手の甲の指の関節部分等に負傷を	20	11409	8	—

			したものである。				
2017	2	11~12	コンテナ車内での作業中、ピート原料ケース（20kg～25kg）を自分の背丈ほどの場所から下ろす作業を行っている際、ピート原料ケースが頭上より落下し首に当たり負傷した。	66	11709	4	30～ 49
2017	2	8~9	会社で配達の前準備をしている時に、じゃがいもの袋（20kg）を移動させようと無理な体勢で袋を持ち上げた時に、腰にビリッと痛みを感じた。	53	80109	19	10～ 29
2017	2	14~15	コンテナ洗浄ラインで、コンテナに付いているシールを薬剤により剥がす作業をしていたところ、床に薬剤にて溶けたシールが落ちていたため、滑りやすい状態になっており、移動中、滑ってしまい、手をついた際に右手首を負傷した。	56	170101	2	50～ 99
2017	2	9~10	店舗内にて、間仕切壁を解体中に、ケイカル板とタイルを剥がそうとバールでこじたところ、塊となって左足に落ちてきた。	62	30201	4	—
2017	2	15~16	工事現場にて壁に立て掛けてある石膏ボード（22枚）ベニヤ板（4枚）より、ベニヤ板（壁側裏）を取り出すべく、共同作業（同僚大工）で石膏ボード（14枚）を立て起こし支えていた際ボードのバランスが崩れ倒れて下敷きになり頭部をボードと上がり框間に挟まれ死亡した。石膏ボード（1枚当たり）91cm×182cm、t=12.5mm ベニヤ板（1枚当たり）91cm×182cm、t=5.5～9.0mm	49	30202	5	1～9
2017	2	16~17	本社工場内で蒸し器を使用して道明寺粉を蒸していた際、蒸し器の蓋を開けた際に、出来立ての道明寺粉が左手手首内側から体に向かって飛んで来て、直径4cmの火傷をした。	46	10104	11	10～ 29
2017	2	1~2	キッチンで食器洗いをしていたところに、小さめの細いコップの中にスポンジを入れて回した際にコップが割れ、手を切創したものである。	27	140101	8	10～ 29
2017	2	14~15	ラックに立て掛けてあるDX用の窓パネルを取り出して運ぼうとしたところ、倒れてきた窓パネル6枚に接触して負傷した。	20	30202	5	—

2017	2	16~17	コンテナより荷降ろし中、汚れ品（集荷袋入り）を持ち上げた際、腰に痛みを感じた。	33	11703	19	100 ~ 299
2017	2	16~17	溶融炉のクリンカを解体するため、炉内で作業準備、養生の設置を行っていたところ、突然上からクリンカ（炉内付着物、約10kg）が落下して被災者の足、腰に直撃した。	62	150101	4	—
2017	2	9~10	厨房でお湯を沸かしていた大鍋を誤ってひっくり返し、左足の足首から甲に火傷を負った。お茶の入った鍋を移動し、煮さばを作ろうとした際、お茶を棚に移動する際に誤って落として火傷した。	42	140201	11	1~9
2017	2	10~11	工場製造3課包装工程において、約20kg程ある底フィルムを台の上に乗せようとして、両手で持ち上げたところ、左肘に強い痛みを感じて関節を痛めた。	58	10101	19	500 ~ 999
2017	2	10~11	クリーンルーム内において、製造ラインを稼働させる準備作業をしている時に、機械に用いられる20kg程の底フィルムを台車で運搬するために膝を曲げ、中腰の状態でも両手で持ち上げた時に左肘に強い痛みを感じて関節を痛めた。	58	170101	19	50~ 99
2017	2	18~19	おにぎりの具製造ライン包装工程で2名がオペレーター業務に従事していた。箱詰製品の結束機のバンド詰まりが発生したため、オペレーターAは製品の横取り作業を行い、一方のオペレーターBは結束機のバンド詰まりの対応に当たった。Bが詰まりを処置し復旧後、Aが箱入れ作業の補助に当たるべく移動しようとしたところ、床上にあった結束機詰まり処置後の不要のバンドに足を取られ、勢いよく転倒し右膝を床に強く打ちつけた。	57	10109	2	300 ~ 499
2017	2	9~10	テント張替工事の掃除、片付け、ペイント傷補修の為、1m位の台の上でペイント塗り残し補修をしていた。下が汚れ防止のビニールシートの為、誤って1m程の台から滑り落ちた。ヘルメットはしていたが手にペイント刷毛を持っていた為、上手く着地できず	44	60101	1	1~9

			足を下のセメントに打ちつけた。大事をとり動かさず救急車で搬送された。				
2017	2	15~16	コンクリート舗装版を取り壊し、人力にて積み込みをしている時ダンプトラック（2t車）に積み込んでいたコンクリートが右手の甲に落ちてきた。	51	30106	4	10~ 29
2017	2	15~16	解体現場で足場の撤去作業の際、産廃を積み上げている上を歩いていると体勢を崩し滑り落ちた。	43	30209	1	10~ 29
2017	2	12~13	被災者は、工場内作業場で自動車部品メーターカバーを取り付け作業を行っている際に力を入れ圧着した時に両手首に痛みを感じた。また、コネクターを結線する作業もあり、中指を痛めた。	41	11502	19	300 ~ 499
2017	2	12~13	被災者は、作業場で自動車開発部品のメーターカバーを取り付け作業を行っている時に慣れていない作業だったので、力を入れ圧着した際、両手首に痛みを感じた。また、コネクターを結線する作業もあり、中指に痛みを感じた。	41	170101	19	100 ~ 299
2017	2	15~16	事業場内の調理場の洗い場で、野菜を切ろうとした時、作業台の上にあるまな板が不安定な置き方であったため、まな板が右足の親指の付け根に落下し負傷（骨折）した。（まな板の大きさは、横約1m、縦約40cm、厚さ約3cm、重さ約10kgのものである。）	36	140201	4	10~ 29
2017	2	11~12	被災者は、商品仕上室内にて、焼酎を入れる外箱組立の作業を終え、交代で担当する者に「外箱組立を終えた」旨のメモ（バインダー）を机に置きに行こうとした際、外箱の直置きを避けるために敷いていた介材紙（厚み5mm程度）に右足つま先を引っ掛け、積んでいた外箱（4段、高さ1m20cm程度）に前のめりに転倒し右肩を捻った。（右肩甲下筋断裂）	63	10105	2	100 ~ 299
2017	2	16~17	フレコンバック（セメント1t袋）作成作業中、フォークリフトにフレコン作成アタッチメントを装着して、セメント落とし口に固定セメント飛散防止用ゴムバンドを装着したが、ゴムバンドが外れてセメントが飛散して、左目にセメントの粉が入り負傷した。	33	170101	4	10~ 29

			フォークリフト積載荷重3t。				
2017	2	16~17	フレコンバック（セメント1t袋）作成作業中、フォークリフトにフレコン作成アタッチメントを装着して、セメント落とし口に固定セメント飛散防止用ゴムバンドを装着したが、ゴムバンドが外れてセメントが飛散して、左目にセメントの粉が入り負傷した。 フォークリフト積載荷重3t。	33	40301	4	10~ 29
2017	3	9~10	病棟1階リネン庫内で包布を梱包しているとき、足元に置かれていた包帯に右足をつまずき転倒し、右肩と左膝を打撲した。	49	130101	2	50~ 99
2017	3	11~12	瓶等の分別作業をしていたが、右手中指に激痛がはしった。左手薬指をかばいながら仕事をしていたが、しばらくして左手親指・右手中指にも軽度の痛みとつりを感じはじめた。	49	150103	19	10~ 29
2017	3	9~10	電柱仮置場にて、電柱の積み下ろし補助作業中に、電柱の転がり防止するクサビを取るため、すぐ横に二段積み（高さ90cm）された電柱の上を歩いていた際に、電柱が雨で濡れていたため、足を滑らせ後ろに倒れるときに電柱に右肘を強打し骨折した。	53	40301	2	1~9
2017	3	8~9	取引先において不燃物収集の際、持ち上げた袋に入っていた割れたガラス片が運ぶ途中で右足ふくらはぎに当たり、約5cm程肉をえぐる形で切った。割れたガラス片として、個別包装も表記もされていなかった。	49	150103	8	50~ 99
2017	3	5~6	現場から帰ってきて倉庫で道具を降ろすとき、手が滑ってホースブリッジを右足親指に落とし負傷した。	47	150101	4	50~ 99
2017	3	16~17	事務所の置き場で資材の整理をしているとき、メッシュパレットに資材を降ろすときに左指を挟んだ。	43	30309	7	10~ 29
2017	3	8~9	被災者が現場で作業準備をしていたところ、ガストーブの隣にあったゴミ箱が、熱で燃えているの発見し、まだ火が小さかったため、ゴミ箱の中のゴミを袋ごと取り出し、近くの水道まで持っていき消火した。その際、溶けたビニールが軍手に張り付き、右	50	10902	16	100 ~ 299

			手5本の指先から第1関節まで火傷した。				
2017	3	11~12	被災者は同僚3名と当社倉庫前において、作業に必要な道具類と酸素ビン等をトラックに積み込み作業中、酸素ビンを強く押した際、隣の酸素ビンとの間で右手小指を挟んで裂傷を負った。	45	30209	7	10~ 29
2017	3	12~13	陶器製灰皿を洗い上げている最中に、灰皿が2つに割れて、そのはずみで指のつけ根を切っけてしまい血が止まらなくなった。	56	150101	8	30~ 49
2017	3	9~10	工場内にて産業廃棄物の選別作業中に、雨天のため履いていた長ぐつで廃棄物を踏んだところ、廃棄物の中に隠れていたガラスの破片が、ゴム長ぐつの底を貫通して足の裏に刺さった。	43	150102	9	10~ 29
2017	3	21~22	飲食店の営業時間中に厨房内で料理を作っている際、料理を盛り付ける皿を取ろうとしたときに皿を落としてしまい、落ちた皿を受け止めよとして手を出したところ、割れた皿が手に当たり、右手中指と薬指の間の水かき部分を切り出血した。	35	140201	8	10~ 29
2017	3	23~24	従業員が店内の洗い場でグラスを洗浄していた際、グラスを右手に持ち、左手でこすり洗いをしていたところ、グラスが破損し、左手の中指と薬指の腹の肉を約1.5cmずつ削いだ。	19	140201	8	10~ 29
2017	3	11~12	重機でダンプの上にある大ガラをブレイカーで割っている作業中に、割ったガラの一部がダンプ右後方（重機の左前あたり）で作業をしていた被災者の右手に当たった。	35	30209	4	10~ 29
2017	3	18~19	古床を保管している場所で、古床を養生しようとしたところ、高所から落下し足を骨折した。	43	11709	1	1~9
2017	3	11~12	派遣先事業所工場内の作業場にて、豚肉塊を切断する機会に肉塊を投入し、そのあと機械の中に残っていた骨片を除去している際に、その骨片が左手薬指に刺さり被災した。その後も作業を継続したが、痛みと患部の腫れが増したため早退した。	20	170101	8	300 ~ 499
2017	3	13~14	ゴミ（段ボール）ヤード内で、段ボールの回収作業中、ラックに入っている段ボールを取っている時、勢い余って段ボールが右目	51	150103	4	10~ 29

			にあたり負傷した。				
2017	3	11~12	トラックにハウスを積んでハウスを荷締めする際、ハウスの上からラッシングベルトで荷締めしようとした時、あやまってラッシングベルトのフックがサッシのガラスに当たりガラスが割れてしまい、そのガラスを捨て場に運ぶ際、サッシごと持って5~6歩進んだ時、サッシ枠からガラスが落ち右大腿の内側に当たり15cm程切れてケガをしてしまった。	58	40301	4	50~99
2017	3	20~21	店舗キッチン内の洗い場専用シンクにおいて、食器類の洗浄中に、割れたガラス製コップに過ってふれ受傷した。	20	140209	8	10~29
2017	3	9~10	コンクリートをダンプに積み込む時、コンクリートに右手人差し指の第一関節を挟さみ負傷した。	28	30202	7	1~9
2017	3	21~22	勤務を終え、従業員用の通用口から駐車場に出て、駐車場の車と店舗の間を通過して帰る時、ゴミの袋（45L）が置いてあり通路が狭くなっていた。ゴミ袋を避けて通ったが、右足がその袋に引っ掛かり前のめりに転倒し、左側にバランスを崩して左膝を強打し、左膝蓋骨を骨折した。通常ゴミ袋は通用口内に保管しているが、当日は量が多かったため、数個のゴミ袋を通用口の外に置いていた。	67	140201	2	10~29
2017	3	9~10	敷地北側の外壁ブロックを解体作業後、コンクリートガラを3tダンプに積み込んでいるとき、誤ってコンクリートガラと一緒に右手の薬指を挟んでしまい骨折した。	65	30199	7	1~9
2017	3	16~17	作業場内にて中子への塗型作業中、中子（直径30cm×厚み3cm）を両手で持ち塗料層の中に漬け込み、後方の焼き付けていた中子の隣へ並べ置いたところ、中子の炎が右手手袋（ナイロン製）に燃え移り、右手を負傷した。	37	10909	11	10~29
2017	3	10~11	空になったダンボールを解体する作業中に、ダンボールのビニールテープで封印してある面を開けるために、ビニールテープを外さず、手の甲で強くたたきつけたとき、打ちどころが悪く、右手	52	170101	3	100~

			の甲の痛みを伴う腫れが生じた。					299
2017	3	8~9	自社の車庫において4tトラックに乗車する際、コンクリートブロック（たて20cm×よこ20cm×高さ60cm）の上に足を掛けて乗車しようとしたところバランスを崩し、後向きに倒れ、背中と後頭部をコンクリートの床面で打撲して負傷した。	70	50101	1		1~9
2017	3	10~11	当社作業場にて、ガラス（122×168）が30枚ほど立てかけてある保管用の木枠のケースから運搬用の鉄枠パレットにガラス3枚をクレーンで移動させようとした際、クレーンでガラスを持ち上げたところ、残りのガラスがバランスを崩し手前に倒れてきたため後ろにさがったが、後ろにあった鉄枠にぶつかり倒れてきたガラスと鉄枠に左足首がはさまり負傷した。同僚にガラスを動かしてもらい救急搬送された。	57	80203	5		1~9
2017	3	14~15	店舗キッチン内洗い場で、スープカップを洗っている際に、水を張った桶の中で割れていることに気付かずに触ってしまい、カップの破片が指に当たり、右手小指を切傷した（2針縫合）。	39	140201	8		30~ 49
2017	3	14~15	店内サービスエリアの下げ台にて、グラスをラックに入れる際に手が滑り、グラスが落下して下げ台にぶつかって割れ、受け止めようとした手に深く刺さり、左手環指を切傷し靭帯を損傷した。	20	140201	8		30~ 49
2017	3	20~21	火の気のない従業員バックスペースにて、料理保温用液体燃料コンロに液体燃料を補充中に発火した。液体燃料自体は自然発火する物ではなかったが、照明をつけず暗がりの中での作業中に着火装置で明かりを灯したためか、もしくは消火が完全にされていないコンロに補充したことによるものかは不明である。	18	140101	16		100 ~ 299
2017	3	15~16	食品工場の3階資材庫にて、重さ約18kgほどの樹脂製パレット（110×110×14cm）の搬出のため、滑り止めの軍手を使用し両手で最上段（5段）のパレットを引き出そうとした時に、パレットの奥側が床に着いた衝撃でパレットを支えていた両手からパレット	43	10104	4		50~ 99

			が滑り落ち、右足に落下して右足親指を骨折した。				
2017	3	11~12	工場内にて研磨機で商品を研磨する際、商品が倒れてきたので商品と研磨機の間左手の中指がはさまれケガをする。	41	11109	1	10~ 29
2017	3	19~20	厨房内麺場で、麺を入れた麺鉢を鍋場に持って行こうとし振り向いた際、電子ウォーマーに持っていた麺鉢をぶつけ麺鉢が割れ、持っていた手に割れた破片が当たり、右手中指先端を切傷し、4針縫った。	16	140201	8	50~ 99
2017	3	8~9	工場内にて分別作業中、はねた塩ビパイプが左肩に当たり、転倒した。	63	150109	4	1~9
2017	3	14~15	S2Cプラント2階パレット化設備にあるストランドカッターで、ストランドカッター手前に堆積していた樹脂ストランドを除去する作業に着手し、堆積していた樹脂ストランドを抜いた際に、樹脂ストランドの先端が目に入り、目を負傷した（角膜潰瘍、光彩に傷有り）。作業時は保護メガネを着用していたが、他作業で汗をかき、花粉症の為マスクを着用していたこともあり保護メガネが曇った為、保護メガネを外して作業を継続し、目を負傷した。	32	10801	4	100 ~ 299
2017	3	22~23	シンクから皿を持ち上げた際に、シンク内で皿が割れており、気付かず触れて手を切った。	54	140201	8	10~ 29
2017	3	11~12	食品の仕分け作業中、調味料の入った缶を自分の足の上に落としてしまった。	35	40301	4	50~ 99
2017	3	1~2	リフォーム工事現場にて浴室解体作業中、一人でカー杯浴槽を引き上げようとした時、右肩からグジュと音がし、右肩腱板断裂を負った。	59	30209	19	1~9
2017	3	19~20	レストラン洗い場で、洗浄機から出てきたガラス製の直径30cm厚さ3mmの皿を拭き、棚に戻そうとしたところ、サービス係がそのお皿を使おうとお皿に触るとまだ皿に熱が残っていたため、担当者に水で冷やすよう誤った指示をした。まだ熱が50℃位残る皿を	57	140101	8	100 ~ 299

			手に持ち流水をかけていたところ、温度差で皿が3つに割れ、お皿を持っていた右手小指を切傷した。				
2017	3	7~8	廃タイヤの荷卸場所で、トラックからタイヤを降ろす業をしていた。運送中にタイヤの一部が崩れており、崩れて不安定だったタイヤが落下し、ドライバーの頭に当たり負傷した。	51	40301	4	30~ 49
2017	3	8~9	荷降ろし中、壁に立て掛けていた木製のパレットが倒れ、右足関節部に当たった。	53	40309	5	100 ~ 299
2017	3	11~12	加工場内において、真鯛の三枚卸し加工中、鯛の骨が指に刺さり負傷した。	55	80101	8	50~ 99
2017	3	10~11	顧客宅の瓦葺き替え工事において、古瓦を下ろしている時、鬼の裏の銅線が体に引っ掛かり、落ちそうになったので体をひる返したところ、右ひざ辺りに瓦が置いてあり、右ひざを打ちつけて負傷した。	31	30209	3	1~9
2017	3	18~19	会社の倉庫内で清掃をしている時、二段積みのタイヤを動かそうと持ち上げた時に痛みがはしった。	30	30301	19	50~ 99
2017	4	16~ 17	所内にて作業中、ピアノ線を固定しているバンドを切断中に、ピアノ線がアゴにあたり負傷した。	21	10909	6	1~9
2017	4	8~9	当社第5冷凍工場に於いて、冷凍魚の積載工程で空ポリパンの回収作業中、コンベアーから冷凍魚が落下左足に当たり、小指を負傷した。	27	10102	4	50~ 99
2017	4	9~ 10	当工事構内にてコンクリート製基礎ブロック72個（25cm×25cm×25cmの空洞ブロック）をトラック荷台から台車に積み替える等の作業中、腰痛が出始めた。	27	30201	19	10~ 29
2017	4	13~ 14	建築現場で、石膏ボード張り（内装の壁張り作業）中に、石膏ボードを持ち上げて（仮置き場所から部屋まで3枚一度に運んでいた、10kg程度）運ぶ際（たてかけた）ふくらはぎが痛くなり、	28	30202	19	1~9

			しゃがんで起き上がる時に痛みを感じた。				
2017	4	16～ 17	製品の置き場からユニック車の荷台に積み込みをしているとき、ユニックで製品（コンクリートブロック、約35kg）を持ち上げたまま荷台のブロックを整理し際に、挟搬機にしっかりブロックが固定されておらず外れてしまい、荷台を整理していた手の上にブロックが落下し負傷した。	54	40301	4	10～ 29
2017	4	22～ 23	厨房内洗い場にて、丼を洗浄するときにシンク内に丼を落とし破損し、その破片で左手中指を切った。	21	140201	8	10～ 29
2017	4	13～ 14	作業場にて従業員が沓石を作成する作業をしていた際、型枠にモルタルを充填していた時にモルタルが飛びはねてしまい、目に入り負傷した。	28	30202	4	1～9
2017	4	10～ 11	被災者はALC（H=2.5m、W=60cm、D=10cm、約80kg）3枚の建込作業を一人で行っていた。2枚の建込、本固定が終了し最後の1枚を立てしゃがんで微調整を行っていた際、ALCが傾き、支えきれず被災者の上に倒れ下敷きとなった。	67	30201	5	1～9
2017	4	13～ 14	ステイ清掃中に、ウィングラスの拭き上げを行っていたところ、柄の部分が割れて左手人差し指第一関節を裂傷した。	40	150101	8	100 ～ 299
2017	4	21～ 22	店舗でゴミ捨てる際、ゴミ袋を握って歩行中に、ゴミ袋に混入していたガラス破片が飛び出し、右足甲をかすって受傷した。	21	140201	8	30～ 49
2017	4	19～ 20	工作中的ミスを注意された事に対して気持ちが高ぶり、ガラスを割ってしまい、右手の甲（背部）を切った。	35	140201	90	1～9
2017	4	21～ 22	閉店作業でフライヤーの油を抜き、保管場所に移動させていたときに躓き、衝撃で油受けから油が飛散し、頬、両腕、左足にかかり火傷した。	19	140201	11	10～ 29
2017	4	13～ 14	店内洗い場にて洗い物をしている際、皿が落ちそうになり拾おうとしたところ、シンクにぶつかり皿が割れ、その破片が右手薬指	30	140201	8	30～ 49

			に触れ受傷した。				
2017	4	9～ 10	作業現場において、高圧釜の冷却作業を終えたつもりで開閉作業を行おうとし、圧力を抜いたつもりでいたが中の溶液（湯）が吹き出し、左脚全体、脚裏、右脚、ひざ、脚首、甲に火傷を負った。	58	10204	11	10～ 29
2017	4	9～ 10	机などを収納する部屋で机を収納する際、足元に何かが引っ掛かっており、無理に引っ張ったところ机が倒れて足の上に落ちた。	20	80302	6	50～ 99
2017	4	9～ 10	解体工事現場で解体作業中、建物の窓ガラスを取りはずし置いていた物をトラックに搬入する時、割れたガラスが落ちて来て右手首に当たり裂傷した。	39	30202	4	1～9
2017	4	5～6	厨房内にて、沸かしてすぐのやかんを運搬しエレベーターに乗せる際に、足を滑らせ後方に転倒してしりもちをついた。やかんが右手から離れた際にふたが取れ、中身が左腕にかかり負傷した。なお、床が濡れている等の滑りやすい状態ではなかった。	44	170101	11	1～9
2017	4	5～6	厨房内にて、沸かしてすぐのやかんを運搬しエレベーターに乗せる際に、足を滑らせ後方に転倒してしりもちをついた。やかんが右手から離れた際にふたが取れ、中身が左腕にかかり負傷した。なお、床が濡れている等の滑りやすい状態ではなかった。	44	80209	11	10～ 29
2017	4	14～ 15	注湯ラインで注湯作業を行っていた際、ズボンのポケットへ入れていたタオルへ溶湯のチル玉が飛んで来て着火した。この火が作業服に延焼し被災した。火が作業服へ延焼した時は、作業者は気付かなかった。火が服に広がって背中が熱いので造型者に背中の確認を依頼したところ燃えている事がわかった。造型者はすぐ消火を行った後、冷水により火傷部分を冷やした。被災者が着ていた作業服材質は綿製で、会社指示材質であった。	62	11002	11	30～ 49
			カウンター内でガラスコップを拭いている時にカウンターの上にあったガラスピッチャーを取ろうとして、誤ってガラスピッ				

2017	4	13～ 14	チャーを落としてそれが床に落ちるのを防ぐ為にとっさに手を出し、右手首をガラスピッチャーで切ってしまった。ピッチャーが落ちたとき、置いてあったコップにあたり破損し、右手首にあたった。	17	140201	8	1～9
2017	4	8～9	コケ張り中に飛び石があるところにおいて、同僚と現地確認のために歩いていたところ、鳥避けのためコケ上部高さ20cm程度の位置で所々張っていた透明ナイロン糸（テグス）のことを知らず、足をとられて転倒し、飛び石の上に前のめりに倒れ込んだ。当初は両肘が痺れていたが、徐々に両手の中指と薬指が曲がらず痛くなり、両手の中指だけがひどく痛んだ。	74	60101	2	10～ 29
2017	4	15～ 16	本社敷地内倉庫にて作業中、コンクリートブロックを左手で保持していたが、放そうと意識する寸前に左手から離れ、右足を引いたが間に合わず右足指先に落下し、右足第一指にあたり負傷した。作業姿勢については、先輩より危険を指摘されていたが、事故当時は意識が薄れていた。	53	170209	4	1～9
2017	4	11～ 12	屋根修繕工事現場（屋根上）において、古い日本瓦を取り除き、簡易リフトに載せようと身体をひねった際に、腰部に激痛が走りその場にうずくまってしまった。同僚と一緒に地上に降り、その日は安静にしていたが痛みが治まらなかった。	43	30209	19	1～9
2017	4	1～2	厨房盛り込み室にて手直しのお弁当を1個手に持ち運んでいたところ、手元に注意が行き、足元に落ちていた食材に気づかず踏みつけて滑り転倒し、左足首を捻り骨折した。	72	10109	2	100 ～ 299
2017	4	14～ 15	集荷先会社の出荷口前にトラックを止め、荷物をトラック庫内へ移動し、積んでいる時、荷物の積み込み時立てかけていたパレットが左足の親指付け根辺りに倒れ下敷きになった。通常はつま先部分に金具がある安全靴を履いて作業するが、集荷先会社の取り決めで、集荷先会社指定の上履きに履き替え作業していた。	48	40301	5	50～ 99
		16～	工場内で、裁断された硝子を両手に持ち、所定の場所に置く為に				10～

2017	4	17	移動していた際に躓いてしまい、右足首を捻挫した。	29	10902	19	29
2017	4	16～ 17	工場内で、裁断された硝子をもって、所定の場所に置こうとした際に躓いてしまい、右足首を捻挫した。	29	170101	19	100 ～ 299
2017	4	14～ 15	マシニング機へのワーク脱着作業を次のような手順で行っていた。①アルミ素材（3～5kg）を右手に取り、左手に持ちかえる。②右手で機械で処理済みのワークを取り出し、左手で左手に持っているアルミ素材を機械にセットする。③右手に持っている処理済みのワークを向きを変えて左手に持ち変え、次の機械にセットする。合計8台の機械にセット・脱着を繰り返す作業の負荷により、痛みが発生した。	28	11502	19	300 ～ 499
2017	4	14～ 15	マシニング機へのワーク脱着作業を次のような手順で行っていた。①アルミ粗材（3～5kg）を右手にとり左手に持ちかえる。②右手で機械で処理済みのワークを取り出し、左手で左手に持っているアルミ粗材を機械にセットする。③右手に持っている処理済みのワークを向きを変えて左手に持ち変え、次の機械にセットする。合計8台の機械にセット・脱着を繰り返す作業の負荷により、痛みが発生した。	28	170209	19	50～ 99
2017	4	11～ 12	注文商品（サイディング）を納品するため、納品先で1tトラックの荷台からそのサイディング（長さ3030mm、幅910mm、厚14mm、重さ約46kg）を2人でかかえて降ろしていたところ手が滑って左足に落下、左足親指を負傷した。	18	80209	4	30～ 49
2017	4	16～ 17	被災者が飼料工場内を徒歩で移動中、飼料をフレコンバッグへ抜き取り作業を行うために置いてあったシートパレットが風で飛ばされるのを目撃した。風で飛ばされたシートパレットが、積み込み中の自車バルク車の方に飛んで行ったので走って追い掛け、シートパレットを左足で踏み付けた瞬間にシートパレットごと	38	40301	2	30～ 49

			滑って後方へ転倒し、全体重が右足首に掛かり骨折した。				
2017	5	19～ 20	加工食品ドレッシング売場で、ごまドレッシングを割ってしまったお客様がいたために、瓶の片付けをした。その後、その瓶の中をゆすいで捨てようと、多目的ホールの流し台で洗っていた時に左人差し指の内側を切ってしまった。	17	80209	8	50～ 99
2017	5	14～ 15	成形現場で金型を成形機にのせようと右手で金型を押さえていた時、ノズルの先端に付いていた樹脂の塊が取れた為、ノズルの中に溜まっていた高温の樹脂が吹き出し、右手の中指・薬指・小指を火傷をした。	37	10805	11	50～ 99
2017	5	5～6	タイヤのゴム練り工程でシート状のゴムをロールで練り上げる作業を行っていた。練り作業中ゴムの塊がロールから受け皿に落下したので繋ぎ用のゴムを貼り付け上昇させようとしたとき、繋ぎ用のゴムが外れてゴムの塊が落下し（約300kg）、受け皿の外まで転がり落ちて、よけきれずに足に当たった。	35	10806	4	1000 ～ 9999
2017	5	9～ 10	スライス機（5号機）の作業において、材料をリフター台にセットし、吸着装置にて材料をスライスラインにのせたが位置が悪く一度機械を停止し材料の位置決めをする際に、自分の手で手直しを行った。足場には踊り場が無く、足を踏み外しピット内に落下し、左肋骨骨折及び胸腹部打撲を負った。	54	10806	1	30～ 49
2017	5	14～ 15	4P納豆をラインから取り、ケースに入れる作業を行っていて、他の従業員は、その作業とパレット運搬作業を交互に行っている。しかし、そのパレット運搬作業が被災者自身が小柄で、運搬作業を行うのが困難なため連続して4P納豆をラインから取り、ケースに入れる作業を2時間程度行ったため、右肩肩甲骨を損傷した。	50	10109	19	500 ～ 999
2017	5	16～ 17	店舗調理場内において食器の洗浄作業中に、ビールジョッキをラックに入れる際に手が滑りジョッキをラックへぶつけてしまい、ジョッキが破損し右手親指付け根付近を受傷した。	21	140201	8	30～ 49
			アルミサッシ戸のガラス交換のため、フレームを外そうとしたが				

2017	5	13～ 14	癒着が強く外れなかったため、棧を2辺外した状態でフレームを縦に起こした際に、急にガラスが外れ腕を押し引くように接触し、右前腕部を負傷した。	56	80201	5	100 ～ 299
2017	5	14～ 15	就業中、洗浄室にて食器が入っているシンクで大皿を洗浄している時、手を洗浄液の中に入れて大皿を掴んだ際、食器が割れている事に気付かず、右手中指を薬指の間を深く切ってしまった。	60	80209	8	1～9
2017	5	12～ 13	職場でどんぶりを洗浄機に入れようとしたら、どんぶりが割れて左手の親指の付け根を裂傷した。	63	140201	8	10～ 29
2017	5	6～7	製造タンク17番において水溶性切削油を製造中、粉末添加剤を投入していたところ、製造タンク内の油が飛散し、両目に入った。	36	10804	4	30～ 49
2017	5	12～ 13	施設から事務室へ向かう廊下を歩行中、床に置いてあった洗濯物の入ったカゴに足を取られて転倒し、左膝蓋骨を骨折した。	52	130201	2	10～ 29
2017	5	14～ 15	立ててある氷を寝かせるために氷挟みを使用して倒そうとしたところ、持ち手が上限に引っ掛かったので外そうと手を離れたとき、左足の甲上部に氷（高さ1m強、重量135kg）が落ちてきた。安全靴を着用していたが、鉄板で覆われていない足の甲の部分を負傷した。	52	80401	6	10～ 29
2017	5	13～ 14	学校給食センター洗浄室内においてフォークを洗浄する際、すすぎに使用するバケツの湯の温度が高いのに気付かず、軍手をして手を入れ、右手の指先から甲の部分に火傷を負った。	22	10109	11	30～ 49
2017	5	20～ 21	蒸麺室を歩行中、蒸麺機の清掃に使用していた熱湯を排水口に排出した際に、熱湯が左足にかかった。	19	170101	11	1～9
2017	5	9～ 10	粗大ごみ収集作業中、水屋箆笥のガラス戸を両手で外そうとした際に劣化したガラスが割れ、左腕に接触し負傷した。	40	150109	8	50～ 99
2017	5	10～	フッ素樹脂製（円筒形、約30kg）の底に部品を取り付ける作業中、作業台の上でポンプを向こう側に90度回転させた際に、作業台の端に転んだ為、転げ落ちてきた。両腕で抱え込んだが重さに	40	11709	4	100 ～

		11	耐え切れず、しゃがんだ状態になり、太ももにポンプが当たり打撲した。					299
2017	5	16～ 17	当社ラウンジ内の厨房において食器を洗っていた際、流し台においていたバケツの中からグラスを取り出そうと右手で持ったところ、グラスが破損しており、破損部分で右手の掌を切創負傷する。	44	140201	8		10～ 29
2017	5	13～ 14	清掃2階廊下にて、客室に破棄された靴箱を足で潰していた時に靴箱に滑った。その際、右手を廊下の壁に添えて作業しており、頭を壁で打ち、そのあとドスンと床に落ちて左手を床につき尾?骨を打った。	65	140101	2		30～ 49
2017	5	10～ 11	書類ごみの収集中、荷台の上で、ビンを専用の網かごに積み換えを行っていた。網かご中のビンを均そうとして、かごの中に右手を入れたが、割れたビンに気が付かなかったため、右手掌を切ってしまった。	29	150103	8		—
2017	5	15～ 16	製品を金型を使用して成型する作業中に、金型から製品を取り出す作業において、製品を指で掴んだ際、金型が高温になっており熱さを感じていたが、作業初日であったため異常と捉えず作業を継続した。何度も熱さを感じるので疑問を持ち、先輩作業者に確認してもらったところ、指に火傷をしていた。	24	10806	11		50～ 99
2017	5	14～ 15	現場内でシバを拾っている時に、上からガラスが落ちてきて左手薬指を切断してしまった。	30	150102	4		1～9
2017	5	3～4	店舗内厨房で、釜にあげた麺を取ろうとした際、伝票を見ながら作業をしていた為、手元を見ず行った為、誤って麺を湯がいている湯釜の中に右腕を約1/2浸けてしまう。	42	140201	11		30～ 49
2017	5	2～3	3号機へ原料シートを設置する際、本来であれば原料シートの芯に芯棒を通し、その芯棒を使って原料シートを横に倒すところ、芯棒を通さず、直接原料シートを横に倒そうとした。原料シートを	52	10805	5		30～ 49

			横に倒した際に原料シートと床の間に右手が挟まり、怪我を しました。				
2017	5	2～3	機械（3号機）へ原料シートを設置する際、本来であれば原料シ ートの芯に芯棒を通し、その芯棒を使って原料シートを横に倒すと ころ、芯棒を通さず、直接原料シートを横に倒そうとして、原料 シートを横に倒した際に原料シートと床の間に右手が挟まり、怪 我をしまいました。	52	170101	5	100 ～ 299
2017	5	7～8	事業所にて作業開始前に、作業服に着替中に落とし物をし、ベラン ダに出たところ、左足でガラス片を踏み負傷した。	20	150102	8	100 ～ 299
2017	5	16～ 17	カウンターでコーヒーを作っていた際、誤ってコーヒーをひっく り返してしまい、右足の付け根にかかり負傷した。	32	140201	11	1～9
2017	5	9～ 10	個人宅にて2名で樹木の移植作業中、足袋で作業中の被災者が、土 中のガラス片に気付かず踏みつけ、左足を負傷した（足袋のみ着 用）。	47	30199	3	1～9
2017	5	22～ 23	2系集塵機装炭車側ダストホッパー内ろ布点検作業中、ダスト（集 塵粉）排出口よりろ布を引き出そうと寄ったところ、右足の長靴 内に火残りのある集塵粉が入り被災者した。	59	10804	11	300 ～ 499
2017	5	14～ 15	障害者支援室の中庭にてソフトボール投げの練習中に、施設入所 者の投げたボールが1～2m程の至近距離から顔面に直撃し、鼻骨 を骨折した。	58	130201	6	30～ 49
2017	6	10～ 11	残反整理をしていた所に、残反（原反）が転がってきて原反と原 反の間に挟まってしまった。	64	10805	7	10～ 29
2017	6	13～ 14	洗い場にてグラスを拭いている際に、グラスが破損して誤って右 手人差し指つけ根を切る。すぐに病院を受診し、4針縫合する。	53	140201	8	10～ 29
2017	6	14～	廃棄物処理場、破碎リサイクル施設内で資源物として回収された ビンを運別台に載せ、破袋・不適物の除却を行い、コンベアに載	64	150109	8	30～

		15	せる作業中に、割れたビンを左手でコンベアに送り出した際に、左手人差し指を切傷した。					49
2017	6	19～ 20	白出汁を作成していて寸蓋を開けた時に湯気が腕に当たり、右首から人差し指、親指にかけて火傷した。	22	140201	11		10～ 29
2017	6	9～ 10	調理場内において、冷凍サーモンを移動する際、濡れた手で抱えた為、左腕を火傷し負傷したものである。	28	140201	11		50～ 99
2017	6	15～ 16	シートの反物を、裁断するために持ち上げようとした際に、腰に違和感があった。最初は痛みだけだったが、徐々に右足が痺れる様になり、座っていることすら困難になってしまった。	63	10209	19		1～9
2017	6	14～ 15	当社敷地内において、コンクリート管（直径90cm、厚さ10cm、長さ約2m）をエンジンカッターを使用して輪切り状に切断後、転がして移動させようとした際、切断部分に右小指を挟んでしまい負傷した。なお、当作業は、植木鉢として使用するために、コンクリート管の加工を顧客から依頼されたものであった。	28	30201	7		1～9
2017	6	18～ 19	庫内（マイナス7度）において、1本135kg、高さ105cmの立っている氷を横に倒す際、片足を滑らせ体のバランスを崩し、氷が右足を直撃した。安全靴を履いていたので足指先に負傷はないが、足の甲を負傷してしまった。	50	10109	7		1～9
2017	6	9～ 10	不具合製品ケースから、トランスを同僚と一緒に取り出そうとしたところ、トランスが思ったより重く、よろけてバランスを崩し、足に落下した。通常は安全靴を履いて作業するところ、安全靴の着用を怠ってしまった為、負傷してしまった。	24	30109	5		1～9
2017	6	11～ 12	工場内で冷凍庫から食肉原材料を出して、カゴから1本ずつ作業台の上に載せる時に、その食肉材を右足の上に落としてしまい負傷した。	36	10101	4		30～ 49
2017	6	11～	親子丼焼成ラインにて、高温の鉄皿を容器に移しかえる作業中、ルール通りビニール手袋3枚、軍手1枚を着けて作業していた。熱	26	10109	11		300 ～

2017	6	13～ 14	工場内で、ブレーキランプの交換作業中に、新しいランプを取り付けようとしたところ力を入れ過ぎ、ランプが割れ、破片が右手掌に刺さり負傷した。	48	80202	8	10～ 29
2017	6	13～ 14	道路改良工事現場で、KJ側溝を荷造りとして結束しているスチールバンドをバールで切った際に、KJ側溝が1枚、被災者の左足甲に倒れた。	39	30106	4	50～ 99
2017	6	23～ 24	自店舗厨房内にて、洗浄後のグラスジョッキ（750ml）を冷蔵庫へ入れようとしたところ、右手で持った状態で壁にぶつけて割れてしまい、持っていた右手にガラスが突き刺さって、5針縫う切り傷となった。	20	140201	8	30～ 49
2017	6	16～ 17	当社加工場でパレットの中に重なり合っている大型の冷凍魚を、1尾ずつ持ち上げて原魚台に降ろす作業をしていた最中、腰を痛めた。	34	10102	19	10～ 29
2017	6	10～ 11	工場内において、ミキサー車のドラム内に付着しているコンクリートを研っていたところ、取れたコンクリート殻が落ちて転がり、左膝に当たってしまい打撲した。	54	10901	4	1～9
2017	6	10～ 11	アルミ板をトラックに積み込み作業中、荷台に立て掛けていたアルミ板が倒れ、左手甲に当たり損傷した。	63	80209	5	10～ 29
2017	6	17～ 18	自動車の電動ウォーターポンプを取り替え作業中、ラジエターホースを取り外し、電動ウォーターポンプを取り替え、ラジエターホースを元に取り付け、最終点検のためエンジンをかけ、車をリフトアップして確認点検中、ラジエターホースが外れ、リフトの下にいた二人にラジエター液（約100℃）がかかり負傷する。	52	11701	11	10～ 29
2017	6	20～ 21	食器洗浄機で洗浄するための食器を並べるトレーラックの端に残飯が溜まっていたため、その残飯を手で取り除いていたところ、残飯内に食器の破片が混ざっていた事に気づかずに掴んでしまい、右手薬指の内側をその破片で裂傷した。	26	140201	8	50～ 99

2017	6	16~ 17	6tトラックを洗車している際、乗り降りするのに高さがあるため、踏み台としてプラスチック製のビールケースを使用していた。助手席側から降りる際、ビールケースに足をかけた時にビールケースが横滑りし、そのまま転倒し骨折した。	67	80209	1	100 ~ 299
2017	6	13~ 14	現場で家屋解体中、1階土間上にドアや窓ガラスを1ヶ所に集め、割って集積している場所で、内装機撤去作業をしている時に足を滑らせ、安全靴は履いていたが、足を負傷してしまった。店舗住宅のため、ショーウィンドー等のガラスが多かった。	49	30202	8	10~ 29
2017	6	14~ 15	荷卸現場にて、立て掛けていたガラスが（200kg）倒れてきて、それを支えようとし、後ろにのけ反った際、後ろにあったポールに腰を強打した。	41	40301	5	10~ 29
2017	6	11~ 12	当社工場内にて、組み立てたガラス入り障子（縦200cm×横90cm×幅4cm、重量約40kg）をトラック（1t車）に積み込み作業中、障子を両手で持ち上げて荷台に載せようとした時、右肩でブチブチと音がし、右肩が上らなくなった。	44	30309	19	1~9
2017	6	10~ 11	資材倉庫で居宅現場に石材搬入する際、取り付け段取り時、木の梱包から2人作業で石材を取り出した時に、バランスを崩して木枠のクギ（約7cm）が右足太股に刺さった。	48	10909	8	1~9
2017	6	11~ 12	昼食の味噌汁が、バツカンの蓋がロックされた状態で火にかかっていた。暖まり具合を確かめるため、ロックされた片方を外した途端、圧力が抜け、中の味噌汁が噴出し、体前面に降りかかった。ナースが衣服を外して冷水で冷やし、救急車を呼び、病院にて治療を受けた。	20	130201	11	30~ 49
2017	6	17~ 18	倉庫内で保管している原紙を取り出す為に、手前の小原紙を手で移動させた後、リフトで動かし、小原紙を元の位置に戻す為、軍手を外したまま作業を行ったことにより、手が滑り、横の原紙で右手を打った。	31	10602	3	300 ~ 499
			魚を出荷するための氷を砕氷機に入れるため、移動させていたと				

2017	6	7~8	ころ、誤って倒れて来た氷に右足を挟み、同部を負傷した。	50	70201	4	1~9
2017	6	15~16	倉庫内で商品検品を行うため、ピッキングリストを見ながら商品棚に向かっていった際、視線が上部に偏り、下に置いていた商品ケースに躓き転倒し、左手首を負傷したものである。	53	40309	2	100~299
2017	6	8~9	包装機のフィルムを抱えて戻ろうとした際に、棚の付近で他の人が屈んで作業をしていたので避けて通ろうとしたが、バランスを崩し、抱えていたフィルムで左膝上部を強く打ちつけた。疼痛はあったものの外傷もなかったのでそのまま就業していたが、2時間後に左膝上部が内出血の様に腫れて変色してきた。	76	10109	3	50~99
2017	6	8~9	作業の邪魔になるため、不法投棄されたガラス製の水槽をフォークリフトを使用して移動させた際、水槽が割れたため一度置き、手作業でゴミ箱を入れようとして、誤ってガラス破片に触れてしまい、その破片で左手首を2箇所（約3cmと約5cm）を切る負傷した。	44	80401	8	30~49
2017	6	14~15	積み込み中、断熱材（約10kg）が滑り落ち、振り向き様に顔面（左目付近）に当たった。徐々に見え方に違和感を感じたので、2日後、眼科へ行くと左裂孔原性網膜剥離と診断された。これまでも何度も荷物が当たることはあった。	50	40301	6	30~49
2017	6	14~15	工場出入口にて排水溝の掃除終了後、2人で付設の蓋を伏せていく作業中、手元がずれて、約20kgのコンクリート製蓋に右手指を挟み、右中指・環指挫傷、右環指末節骨折した。	62	11301	7	1~9
2017	6	13~14	店内厨房にて2便の片付け中、ダンボールを畳んでいる時、左手の中指の爪と皮膚の間に、ダンボールの端が刺さり受傷し、痛みが酷くなった。	48	80209	8	1~9
2017	6	12~13	店舗厨房洗い場のシンクで食器の予備洗い中、シンクの中のチャポンの器を掴んだところ、器の割れた部分に当たって左手薬指の甲側、第2関節部分を切った。	68	140201	8	10~29

2017	6	16~ 17	会社構内に設置してある廃材コンテナの中を整理している時、同僚が投入したタイル廃材が右手首に当たり怪我をした。	53	170209	6	1~9
2017	7	14~15	工場第1整形室にて機械の入口から出てきた原料肉をひっくり返し、その原料肉を再び同じ機械に入れる作業をしていたときに、機械の入口から離れたところから原料肉を入れようとしたため、体勢を崩して原料肉を持っていた右手首をひねってしまった。後日痛みが増し、右手関節捻挫の診断を受け18日後にMRI検査をした結果、右肩腱板不全損傷で休業見込みを1か月要することがわかった。	37	10109	19	300 ~ 499
2017	7	13~14	会社の資材置き場（川下）にて足場の資材（クランプ）をコンテナの中に運ぶ片づけ作業中、足元のコンクリートブロックに気づかず踏みつけて、足をひねって資材を持ったまま転倒し負傷した。右第5中足骨骨折 右足関節前距腓靭帯損傷	42	30209	2	1~9
2017	7	8~9	ゴミ集積所に於いて、収集車両へ不燃物ゴミの積込作業を行っていたところ、パッカー内で破碎されたガラス片が飛散し、その一部が被災者の左眼に当たり負傷。直ちに作業を中断。ゴミ組成に由来する危険性（破碎後の飛散等）に対する予防策を講じていなかったことや、使用者側の安全教育不足等が当該事故の主原因と史料。	50	150109	4	50~ 99
2017	7	10~11	工場内において前処理のため、品物の入った箱を持ち上げた際に腰を痛めた。	34	11209	19	10~ 29
2017	7	14~15	野菜処理室で、下処理をするたまねぎの入ったコンテナを作業台にのせる作業を何度か行う中で、腰に負荷がかかり痛めた。普段、重いものは2人で持つよう指導され実践していたが、その日は周りに人が少なかったため、1人で持つ不安全な行為があった。腰に負荷が掛かっている状態で作業を継続したため、バランスを崩し左足を痛めた。	40	10109	19	100 ~ 299
			解体工事現場に於いて、建物内の解体作業中、誤って階段で滑り				

2017	7	16~17	転倒、胸と手足を強打し負傷したもの。	21	30301	6	1~9
2017	7	14~15	製造用設備のガラス器具を組み立てている際反応容器のふたに攪拌羽根を取り付けている時ガラス製の反応容器ふたが攪拌羽根に接触し、割れてしまい、右手小指を割れたガラスで切ってしまった。	31	11709	8	100 ~ 299
2017	7	21~22	第1成型に於いて、端尺の原反を隣の原反置場に移動するため、2人で鉄芯の両端を持ち、持ち上げた際、腰を痛めた。	47	10805	19	100 ~ 299
2017	7	10~11	事業所内に於いて、入荷した廃品物の中身を確認作業中。混入していた刃物を引き出そうとしたところ、手袋が滑り誤って刃の部分に右手人差し指が当たり負傷したもの。	25	150109	8	1~9
2017	7	10~11	集積所において資源物（ビン、カン、ペットボトル）の収集作業中ビンの入っているカゴの中に割れた花瓶（不燃物）を取り出そうとした時右手人差し指の手の甲付近を切り負傷した。	40	150103	8	30~ 49
2017	7	20~21	パレットの上に立っている原反（印刷4000m巻）をリフトに倒して載せる際、原反とリフトのアーム部分に左手中指を挟んでしまった。原反がパレットの上で滑ってしまいバランスを崩してしまった。	29	10701	7	100 ~ 299
2017	7	14~15	会社の車庫でトラックの荷台の製品の巻取をテコ棒を使用して練習していた時、製品と製品の間で足が挟まって左膝を負傷した。	46	40301	7	1~9
2017	7	20~21	納品先にて、荷降ろしをする際、傾斜している所に駐車し、作業を行う。庫内から荷物を出したところ、パワーゲート車のパワーゲートの上から、バランスを崩し荷物ごと転落。落下時に手について骨折となる。	22	140209	4	30~ 49
2017	7	23~24	店舗内洗い場で、食器洗浄作業中、洗っていたグラスを落としてしまい、その破片で左手中指を切るケガをした。	26	140201	8	10~ 29
			製本加工の丁合機に刷本をのせる作業工程で違うページが混入し				

2017	7	16~17	ていないか確認のパラ検品を行って丁合機に刷本をのせるのだが、そのパラ検品の際に左手に刷本を持ち右手でパラパラとページを検品行う時にA4サイズで厚みもあったため右手首が外側にひねりすぎてしまった。	36	10702	19	30~ 49
2017	7	14~15	厨房内で冷凍してある鶏肉をばらすために肉と肉をぶつけあった結果、誤って指を挟んでしまった。左中指を骨折していることが判明した。	62	80209	7	1~9
2017	7	22~23	食器を手洗いしている際に、コップ（ガラス）が割れて、破片で指を切ってしまった。	39	140201	8	1~9
2017	7	9~10	トラック荷台側面（現場入口付近）にて、平積みされた石膏ボードの横に立て掛けてあった石膏ボードを運ぼうとしたところ横立て掛の石膏ボード（14枚、約319kg）が崩れ落ちてきたため、避けられずに被災者の背中、腰にぶつかり受傷した。	31	30202	4	1~9
2017	7	11~12	調理場で、魚の調理をしているときに、魚のヒレが左手親指に刺さり出血した。その後も仕事を続けていたが次第に左手親指がはれて痛み出し発熱し出した。炎症を起こしていると診断された。	52	140209	8	10~ 29
2017	7	11~12	作業所で中子造型機械から中子を取り出すため左手で持ち上げた際に左肩に痛みが出た。	56	11102	19	10~ 29
2017	7	11~12	作業所で中子造型機械から中子を取り出すため、左手で持ち上げた際に左肩に痛みが出た。	56	170101	19	30~ 49
2017	7	8~9	レストランホール内のシンクにて、コーヒーポットの残量計をブラシにて洗浄中に誤ってガラス管を割ってしまい、割れたガラスが左手人差し指下側に刺さった。	32	140301	8	30~ 49
2017	7	14~15	2人で②の材料（略図参照）を設置する際当事者が後ろ向きに下がるようになってしまい、足元に置いてあった材料①に足をとられてしまい後ろ向きにそのまま倒れてしまった。倒れた際、別の材料を置いてあった木製のパレットの端に後頭部をぶつけてしまっ	67	10805	2	10~ 29

			た。				
2017	7	14~15	太陽光パネル野立て設置工事現場において、休憩中にお茶を飲もうとした際、誤って野立ての機材に手の甲をぶつけ負傷したものの。	28	30302	3	1~9
2017	7	9~10	ごみ置場に出されていた不燃ごみを収集しようとしたところ、ごみ袋の結び目近くをつかんだ際、そのあたりに割れたジョッキ（ガラス製）の割れた部分が上を向いた状態であったため、ジョッキの割れた部分で右示指を切った。	45	150109	8	50~99
2017	7	7~8	第3工場豆腐の資材置場において右手にソフト豆腐用フィルム巻（4kg）と左手に2P豆腐用フィルム巻を両手に持って運搬用台車に載せようとした所、右手に持ったフィルム巻が滑り右足の小指の上に落とし骨折してしまった。	51	10109	4	100~299
2017	7	8~9	路肩に設置した集積定点で、資源ごみ（缶、びん、ペットボトル）を収集作業中、ごみ袋の中に混入していた危険物（ガラス破片らしきもの）で、右手環指に切り傷を負ったもの。	51	150103	8	50~99
2017	7	16~17	プレキャスト側溝pu300を敷設作業中で設置位置の微調整作業をバールを使用して行っていた。被災者はpu側溝の端を両手でもって手元をしていたが、左手薬指先が既設配管に挟まれて負傷した。	51	30107	7	1~9
2017	7	17~18	店舗内より、店外バツカンへ解体したショーケースのガラス板を搬出作業中、別館前において上部にあげた時、ガラスが割れ、右腕に破片が刺さった。	36	80209	8	10~29
2017	7	13~14	当社事務所にて所内の改装作業中に、ガラス付パーティションを組み立てていた際に、ガラスが倒れてきたのを受けようとして、右腕をガラスで切り負傷したものである。その時割れたガラスが顔にも当たり流血した。	39	80109	6	10~29
			石垣の横で石垣の前の片付けをしている時、石垣の上の石が落ち				1000

2017	7	15~16	てきて、片付け中の石と上から落ちてきた石に挟まれた。	54	80109	6	~ 9999
2017	7	15~16	洗浄機を使用して洗浄業務を行っている途中に、レバーのひっかけが甘く落ちてきて指を挟んで負傷。	71	140209	4	10~ 29
2017	7	9~10	構内において、階下の作業現場で使用するPPロープ（長さ約2m）の束を持って階段を慌てて下りていたところ、PPロープが足に絡まって転倒しそうになったため、地面まで飛び降りてしまい（階段7段分、高さ1.7m）右足を負傷した。	48	50209	4	30~ 49
2017	7	2~3	派遣先にて、材料を床から機械に補充するため持ち上げた時、腰に激痛を感じた。	24	11409	19	500 ~ 999
2017	7	16~17	工場内においてアート側溝横断暗渠（重量：約280kg）の反転作業を、他の作業員と2人で行っていた。右手で製品を支え左手で製品を持ち上げ反転作業を開始した。製品を輪木上に卸す時、製品と輪木との間で右手第2指を挟み負傷した。	46	10901	7	10~ 29
2017	7	6~7	調理場において、本人が1人で食器洗準備作業中に、お皿を移動する際、手を滑らし、お皿が床に落下し破損した。急いで破損したお皿を片付けようとした際、お皿の鋭利な部分に右手の甲が当たり、切創した。	52	140101	8	100 ~ 299
2017	7	15~16	当本社敷地内の材料置場（倉庫）内でコンクリートガラの片付け作業中、誤って手を滑らせてしまいコンクリートの破片が右足首の薬指の付け根の上に落下した。	70	30199	4	10~ 29
2017	7	11~12	当社、厨房調理場、流し台において、食器洗浄中、手を滑らせ、洗っていたガラスコップが破損、その"かけら"が、落ちていたところに、誤って右手示指が、当たり第一関節部、約2cm裂傷を負った。	45	140101	8	10~ 29
			重機で選別作業を行っていた作業員が回転時に重機のツメ部分を				

2017	7	9~10	コンクリートブロック6段（高さ3m）に接触させてしまい、上から2個のブロック（1つ：高さ50cm、1m四方）が落下した。近くで選別作業を行っていた被災者にそのブロックが当たり、怪我を負った。	40	150102	4	100 ～ 299
2017	7	15~16	店内にて、洗い場で食洗機にガラス用のラックを入れて洗浄し、洗浄完了後ラックを取り出し運ぼうとしたところ、手を滑らせラックごと落とし、拾い上げようとラックを掴んだところ割れたガラスで左手小指を受傷した。	31	140201	8	10～ 29
2017	7	11~12	依頼主の引っ越しゴミ処分のため、屋内にて食器棚等を移動させていた際、食器棚のガラス戸（30cm×30cm・約5kgのガラス板）を2枚合わせて持ったところ、その1枚が足に落ちて刺さった。	43	150102	4	10～ 29
2017	7	7~8	豆煮釜に蒸気を入れて、豆を煮ていた。沸騰してきたので蒸気バルブを閉じて釜に注水し、沸騰が止まったと思いふたを開けたところ、煮汁と豆が吹き出し、両足に火傷した。本来は防水前掛をしなければならなかったが、その時はしていなかった。	36	10109	11	1～9
2017	7	11~12	分別台の上で洗面台の鏡を外し、下にある産廃BOXに割って入れようとしたところ、割れた鏡の破片が左目にあたり、眼球を傷付けた。	51	150102	4	10～ 29
2017	7	13~14	選果場の現場で壁パネル貼り作業中、屋根から壁パネルを作業員が手渡しで降ろす作業をしている。屋根上の作業員が足場上の被災者へ渡す時に作業員の手が滑り、被災者はうまく受け取れず負傷した。	25	30201	4	10～ 29
2017	7	14~15	屠場内で、親豚の頭を捌く作業をしている時、作業台から豚の頭が右足に落下し負傷した。	51	10101	4	100 ～ 299
2017	7	10~11	ベリーマッチ売場にて、結束機で一升瓶2本をくくるために結束バンドの2本目をかけたところ、一升瓶が1本割れたため、落ちない様に手をそえた時に割れた瓶で左手人差し指の甲側の根元を切傷	28	80201	8	100 ～

			した。					299
2017	7	14~15	コンテナ交換作業時、コンテナを被っていた網の上にブロックがのせてあった。ブロックに気付かず、コンテナの足元に絡まっていたのを外そうと網を引っ張った際、ブロックが落下し、左人差し指に直撃し骨折した。	26	150102	4		30~ 49
2017	7	21~22	ドリンク場において、グラス洗浄時倒れたグラスを割れない様左手で支えようとしたのと同時に、グラスが割れてしまい指を切ってしまった。	22	140201	8		10~ 29
2017	7	14~15	食器洗い中、洗い場の中でグラスが割れたのに気付かず手を入れ、右手首をグラスの切り口で切った。	42	140201	8		1~9
2017	7	9~10	当社工場内に於て、万鯛の加工処理作業中、作業台の上に乗せた万鯛の上身処理を終え、下身の処理に移るべく魚を反転させた際、魚が自重（約40kg）により横すべりしたため、これを支えようとしたが魚の重みに耐えきれず、突然左上腕部から頭キツという音と共に激痛が走り、左上腕部の腱を断裂負傷した。	57	10102	19		100 ~ 299
2017	7	7~8	ホタテの水揚げ作業が始まり、早朝より洋上での水揚げ作業を行い、加工場に持ち込みホタテカッターへ1枚ずつ投入する作業を担当していた。重いカゴを持ち上げる作業と連続してホタテを投入する作業で手首に負担がかかったと思う。左手首の痛みを感じ翌日に右手首も痛くなったので手首用サポーターで保護し無理のない作業をした。翌々日に水揚げ作業後痛みが増し両手首がつかえない状態となった。	42	10102	19		1~9
2017	7	11~12	当社構内作業場において、回収した産業廃棄物を投棄用コンテナボックスに積み込み作業をしていて陶器ゴミの突起部分に左手をひっかけてしまい左手を切創した。	33	150109	8		10~ 29
2017	7	21~	工場内下処理加熱室にて蒸気釜を使用してブランチング（茹でる作業）後、中のザルを手前に持ち上げた時、付けていたエプロン	48	10109	11		50~

		22	の下端がめくれており、隠れるはずの長くつの上部からお湯が入り、右足の甲を火傷した。					99
2017	7	14～ 15	通信線を新たに設置する工事の準備で通信線を引っ張るための金車を取り付け延線ロープを金車に通していた。ロープを車両で張り上げている途中で金車を固定していたバンドが破断し、同柱で作業をしていた被災者の顔面左側こめかみ付近に直撃した。破断したバンドはケーブルをまとめるものであり金車を固定するものでなかった。通常はスリングやワイヤーを使用すべきところを扱いやすいことから今回破断したバンドを使用してしまった。	48	30301	4		10～ 29
2017	7	13～ 14	当社において、吊るされている豚の枝肉を洗い右に移動させようと、両手で枝肉を押していた時に、腰を捻り負傷した。	50	150105	19		30～ 49
2017	7	23～ 24	店内にて食材を冷凍庫へ移す作業をしていた際に、誤って冷凍状態の肉のパックの塊を落としてしまい、左足の小指に当たってしまった。	23	140201	4		30～ 49
2017	7	14～ 15	資材置場で分別のため、ガラス片についたテープをはがそうとして右手を負傷した。	21	30209	8		1～9
2017	7	11～ 12	店内キッチンにて、電子レンジから陶器の丼ぶりを取り出す際、誤ってレンジに丼ぶりをぶつけて割れてしまい、親指にえぐるように突き刺さった（右手拇指切傷）。	36	140201	8		30～ 49
2017	7	10～ 11	個人宅で粗大ごみの運び出し収集作業中、ソファを相方社員と抱えて後ろ向きに歩き出し、続けて敷地内を歩いているとき、自分の周囲の障害物を確認するため上半身を左側に捻ったところ、左の脇腹と背中と腰に強い痛みを感じた。多少痛みがあったが、ソファを車に積み込んだあと、車での移動中に、呼吸をすると脇と腰に強い痛みがはしり、我慢できなくなってきた。	31	150103	19		50～ 99
2017	7	22～ 23	キッチンにて清掃中、チーズウォーマーのお湯を抜いたとき、誤って足にお湯がかかり、右足の甲を火傷した。	21	140201	11		100 ～ 299

2017	7	20~ 21	キッチンにて、揚げ物用中華鍋が火の消し忘れにより発火しているのを発見した。消火を試みようとして、濡れタオルを中華鍋にかけるようとしたところ、中華鍋が不安定で鍋が転倒した。その際、中には入っていた油がこぼれ、左足の指先から足首にかけて・右足の指先・脛・膝に火傷を負った。	25	170209	11	1~9
2017	7	13~ 14	解体したガラスをトラックに載せ産廃へ搬出する作業を行っている際、ガラス（750mm×900mm）を肩の高さまで持ち上げ歩行中、ガラスにヒビが入っていたためにヒビから割れて、右手肘下に当たり、裂傷を負った。	25	30209	8	30~ 49
2017	7	1~2	3階改修現場において、硝子を取り外し、脚立を降りる際にバランスを崩し、取り外して立て掛けていた硝子に右手を掛けた際、その手が滑り、右手人差し指第一関節付近を負傷した。	47	30209	8	10~ 29
2017	7	8~9	トラック荷台の部材運搬中、後ろ向きに移動していた際、足元に落ちていたロール材を踏んでしまいバランスを崩し、後ろへ転倒した。	28	170101	2	500 ~ 999
2017	7	12~ 13	調理場ガスコンロ前で揚げ物をしているとき、食材が破裂して油が顔全体にかかった。すぐに水で冷やし救急を受診したが、3日後に悪化したため別の病院を受診したところ、完治まで2~3週間休養が必要と診断された。	37	80109	11	1~9
2017	7	18~ 19	1FリサイクルBOXにて、リサイクル缶の回収をしようとBOXの中に手を入れたところ、割れたビンが入っていて、それを取り除こうとして掴んだとき、左手親指を切ってしまった。切った後、貧血気味で倒れ、膝を打ったとのことである。	43	150101	8	30~ 49
2017	7	13~ 14	店舗内調理場で、タルタルソースの卵を茹でているとき、ガスレンジの上棚から食材が落下した。その食材が卵を茹でている鍋に落下し、100℃近くの熱湯をかぶり、腹部・左大腿部・左下腿部にII度の熱傷を負った。	52	140201	11	10~ 29

2017	7	15~ 16	プラスチックの塊が入ったフレコンバックを、フォークリフトで高さ約1m吊り、フレコンバック内にある塊を取り出すため、フレコンバック底部をカッターナイフで切断したとき、塊（6kg）が地面に落ち跳ねて、約5m離れていた作業員に当たり、右脛骨近位部開放骨折を負った。	64	50101	4	1~9
2017	7	10~ 11	ゴルフ場内で草刈り作業中に、プレイヤーの打球が左手甲に当たって激痛がはしり、打撲箇所が腫れてきたため、当日に整形外科を受診したところ、左手小指と薬指を骨折していると診断された。	69	170209	6	10~ 29
2017	7	16~ 17	ペアガラス（80×210×1.8cm、30kg）を枠にはめ込む作業をしていたところ、枠とは逆方向にガラスが倒れてきたため、慌てて両側面を持って支えたが、支えきれず、ガラスは間に置いてあった脚立に当たり大破した。ガラス側面が切りっぱなしになっていたが、誤って強い力で側面を握り、両手を負傷した。	64	80209	8	10~ 29
2017	7	8~9	機械の立ち上げ時に、前日に残った樹脂をたれ流して団子状になった物（樹脂温度約260℃）の処理中、右足に巻き付いて火傷した。	40	10805	11	1~9
2017	7	10~ 11	厨房にて開店の準備をしていたとき、開店に間に合わせようと慌てており、従業員同士でぶつかってしまい、後ろによろめいて調理台にぶつかった。その際、調理台にのせてあった鍋が揺れて中身がこぼれ、背中および腹部にかかり火傷を負った。	44	140201	11	10~ 29
2017	7	16~ 17	ウェルネス事業部の出荷作業場で、空のダンボール箱を片付けているときに、パレットのダンボール置場の一番下のダンボールが、少し斜めに通路にはみ出ていたため、左足を引っ掛けて転倒し、左手首で体を支えることができず、顔面を床にぶつけ負傷した。	58	10805	2	50~ 99
2017	7	15~	当施設内で、子供2名と、読む紙芝居を座って聞いていたとき、同じ施設内で別の遊びをしていた子供の投げた段ボール（16cm四	61	120109	4	1~9

		16	方) が飛んできて眼に当たり、右眼を負傷した。				
2017	7	9~ 10	解体工事現場にて、安全靴を着用し解体作業中に、建物から外壁のコンクリート片が外れ、真下で作業していた被災者の左足の甲に落ち、左足の小指以外の指4本を骨折した。	54	30209	4	1~9
2017	7	9~ 10	2階飼育室内で、金網ケース（エサカゴ）に沢山の飼育瓶を入れたものを移動、搬入していたときに、網カゴの目から破損したガラス片が突出していることに気づかず、カゴ底面を素手で支えて動かしたため、左手の平をガラス片で深く切っけてしまい、一部神経を損傷した。網カゴは飼育瓶の重みもあり、かなりの重量であったため、傷が深くなったと考えられる。	44	120109	8	50~ 99
2017	7	11~ 12	立て掛けてあったボードの中から一枚を引っぱり出そうとして、重さに耐えきれず倒れてしまい、下敷きになった。	20	30309	5	1~9
2017	7	10~ 11	本社工場内にて、FRP（強化プラスチック）板（1350×1500×30mm）をパネルソー上でカット作業中、位置合わせのため少し横に移動させたところ、手前へ傾き、そのままFRP板（約90kg）が落下し、底部が右足甲に当たり負傷した。	42	10805	4	1~9
2017	7	11~ 12	工場内にて、作業が終了し、作業台に置いてあるプラスチック板（900mm×1800mm、重さ10kg位）を片付けるため、同僚が両手で立てて持ち、置場に移動中、近くにあった結束機が邪魔になり置けなかったため、一旦後退したとき、被災者が後横にいたのに気づかず、プラスチック板角が左足に当たり負傷した。	42	10609	3	10~ 29
2017	7	19~ 20	お客様が食事を済ませた後に食器を下げて来て、洗い物としてシンク（湯を入れてある）に入れた。数分経って、その食器を洗い始め、その内の茶碗を左手で持ち、右手にスポンジたわしを持って洗っていたとき、茶碗が割れていたことに気づかず、右手親指付け根を切傷した。傷が深かったために病院に行ったところ、切傷した箇所に腱の切断が見られたため手術をした。	52	140201	8	1~9

2017	7	17～ 18	工場選別棟内にて、廃棄物選別後、仮置きしてあるダンボールを専用車両に積み込み中、ダンボールの後ろにあったドアに気付かず、ダンボールを取って後ろ向きの状態になったときに、ドアが倒れかかって腰に当たった。	22	150103	6	50～ 99
2017	7	16～ 17	客先にて、廃棄物をコンテナ内に手積みで積込んでいた際に、板ガラスがあったので割れたりすると危険だと思い、安全策としてプラスチック容器に入れて、コンテナ左後方に置いて作業をしていたところ、左に振り向いた際に板ガラスに接触し切創した。	43	150102	8	50～ 99
2017	7	11～ 12	当社カットセンター内の作業場にて、枝肉を小割にする作業中、レールに吊るした枝肉を真下方向に引いて作業するべきところ、誤って斜めの方向に引いてしまい、枝肉がレールから外に落下し、右手を負傷した。	58	10101	4	50～ 99
2017	7	14～ 15	4階でダクトの吊りこみ作業中、壁際にダクトを通そうとした際、台車の上にボード材（182cm×91cm、重さ16.1kg）が9枚のせてあり、邪魔になったため移動しようとしたところ、台車からボード材がずれ落ちてきた。支えようとしたが重さに耐えきれず、背面の窓に倒れ込み、窓枠に左鎖骨を打ちつけて負傷した。	32	30309	6	30～ 49
2017	7	20～ 21	担当エリアの店舗にて、店舗のマネージメントや業務フォローの仕事をしているとき、店舗駐車場で、備品什器のガラス板（60×30）の搬入作業をしていた。3枚のガラス板を同時に持ち上げたことでバランスを崩し、3枚中2枚が床に滑り落ち、左足の甲を負傷した。そのときにガラスが刺さり、左足薬指に繋がる腱を断裂した。	36	80209	4	30～ 49
2017	7	15～ 16	工場において、鏡の切断作業中、鏡（500mm×500mm×5mm）を左手で抱えて持ち上げているとき、滑って落ちそうになったので支えようと右手を鏡の下に伸ばしたところ、右手首に当たって切創した。	50	10902	8	10～ 29
		11～	現場において、屋根上で瓦の運搬中、誤って左足首に瓦を落下さ				

2017	7	12	せて受傷したものである。	47	30309	4	1～9
2017	7	8～9	工場内連続鑄造機Aラインにおいて、鑄造作業に着手した際、タンディッシュを通過した溶湯アルミが、鑄造内に流れた瞬間に飛散し、左目に入り火傷した。	59	11102	4	10～ 29
2017	9	8～9	150cmぐらい積み重なっている一段目のコンクリートブロックを、両手でつかみ足元へ降ろす際に、上から二段目のコンクリートブロックも引きずり落下させて、手の甲側の右手小指のつけ根付近にコンクリートブロックが強打して骨折した。	38	40301	4	10～ 29
2017	9	19～ 20	当社2階の配膳室に於いて、ゴミを捨てるために左手でゴミ袋を持ったところ、そのゴミ袋の中に割れたガラスが入っていたため、左手の母指（親指）を鋭く切ってしまい負傷したものの。	38	140209	8	30～ 49
2017	9	6～7	印刷工場内、印刷加工準備で印刷機械にロール状のフィルムをセットする作業中、通常はフィルムとコンベアに載せて印刷機械にセットするという作業手順だが、フィルムの巻き径が細かった為、コンベアに載せずに手で持ち上げ機械にセットしようとしたところ、手が滑りフィルムが落下。丁度その下に左足があり、安全靴を着用していたが、左足小指を骨折した。	27	10701	4	50～ 99
2017	9	16～ 17	1系焼却炉内において、焼却炉停止時の炉内清掃作業にて、ばいじんの堆積物除去作業をしているとき、煙道壁に堆積したばいじんの塊が落下し、作業員の背中に直撃した。肋骨、骨盤等の骨折、骨折により肺を損傷および倒れ込んだ際に火傷を負った。	34	150102	4	30～ 49
2017	9	10～ 11	店の厨房で作業中、味噌汁の具を渡そうとしたところ、味噌汁サーバーの調整をしていたスタッフの持っていたお湯が誤って右足の上にかかってしまい、その際負傷した。	64	140309	11	50～ 99
2017	9	10～ 11	道路維持（舗装・L型修繕）地先にて、道路を開削し、集水枘の取付管を塩ビ管に交換する工事をしていた時、既設の取付管の陶管を割り開削した。穴の中にいた作業員から被災者に受け渡した際	44	30110	8	1～9

			に、陶管の鋭くなっていた所があり、その部分に手の平を手袋ごと切断し右手に切り傷を負った。				
2017	9	21～ 22	自店舗厨房内にて大きめのグラス（長さ25cm程）を洗浄中、手を滑らせグラスを落として割ってしまい、跳んできたグラスの破片で右手の小指を裂傷した。	20	140209	4	10～ 29
2017	9	10～ 11	被災者が3階廊下のサッシの養生材を剥がそうとし、仮置きで立てかけてあった硝子に手をかけめくった後に、1100mm×2400mmの硝子（1枚約60kg）が9枚（合計約540kg）倒れ右足が挟まれ負傷した。	50	30201	5	1～9
2017	9	15～ 16	駅地下1階コンコースの手洗所内において、壁面の解体工事作業をしているときに、作業員が既存のALC壁パネルの一部を取り外そうとして上部結合部を切断したところ、通常は前に倒れるはずの壁パネルが、切断の勢いで横に滑り、近くにいた被災者が避けたものの被災者の足に接触して被災した。	32	30209	6	10～ 29
2017	9	8～9	ガラスの配送時、倉庫内の扇風機のコードにつまずいてしまい、持っていたガラスが、膝にぶつかって切れてしまった。	22	80109	8	10～ 29
2017	9	16～ 17	公民館の所で、可燃粗大の収集をしている際、気付かずにガラス片を右手の甲にさしてしまった。その際、手袋は装着していたが、手袋ごとささってしまった。止血の為、作業を終了し、帰社して、消毒を行い帰宅した。	37	150102	8	10～ 29
2017	9	9～ 10	当社作業場（第二工場二階）において、ブチル練り作業をおこなっていた際、板パレットからブチル材料を次の作業者が取りやすいように移動させていたが、ブチル材料がくっついて取れなかったため、左手だけではなく、右手を添えて取ろうとしたところ、勢いよく材料が外れ、右手に接触した。後日受診したところ、接触箇所を骨折していた。	39	11502	4	30～ 49
2017	9	19～	従業員階段で、提供へ行く途中、階段を下りているとき、足元の確認不足で階段を踏み外し、転倒した。転倒時に、ガラス破片で	17	140309	8	30～

		20	左手小指の付け根を切るケガを負った。					49
2017	9	19～ 20	レストラン店舗内、キッチンにて、グラスを洗っている際に、シンクの中でグラスが割れたので、片付けようとした際、割れた破片が左手人差し指に刺さり、切傷を負った。	17	140201	8		30～ 49
2017	9	9～ 10	午前中に作業員の派遣先である当工場内にて、タマネギのボイル作業中、大きなボイル釜の機械から、茹で上がったタマネギをザルにあげる際、作業員が右足を滑らせ、尻もちをついた拍子に、釜に残っていたお湯が手首にかかり、負傷した。	42	10101	11		100 ～ 299
2017	9	19～ 20	ショーウィンドウに食器を積み上げて展示をする際、転倒しないよう食器と食器を接着剤で固定していたが、展示が終わり、食器同士を素手で剥していた。その際、食器が割れてしまい右手親指第1関節と人差し指のつけ根を切ったものである。	19	80209	8		10～ 29
2017	9	16～ 17	ブロック積基礎背面で、配布されたブロックを人力で向きを変え、整列させる為に持ち上げ、移動させようとしたところ、隣のブロックと左手中指が接触して、裂傷を負ったものである。	21	30109	3		10～ 29
2017	9	8～9	派遣先にて、2階の接待部屋を出る際に、入室をする方とぶつかりそうになったため、避けたところ、段ボールにぶつかり、無理な体勢になってしまい、右側の股関節を痛めてしまった。	22	170101	3		300 ～ 499
2017	9	13～ 14	資源化施設にて、ベルトコンベア上の空きビンの選別作業を行っていた際に、軍手と厚手のゴム手袋を二重に装着し、割れた空きビンの破片を両手でかき集め収集箱に入れていた所、空きビンの破片が右手の親指の付け根に刺さり受傷した。	46	150109	8		30～ 49
2017	9	11～ 12	検瓶作業の際、瓶が流れているラインに他社瓶が入っており、それを取り除こうとした時に、隣の瓶が割れてしまい、割れた瓶に手が触れてしまった。	19	10101	8		100 ～ 299
2017	9	14～	射出成形機の整備中、シャフトのフタを開ける為に、カナヅチで同僚がたたき本人が押さえていた所、フタがいきなり開きレバー	40	10805	4		30～

		15	がはね返り、右人差し指に当たり負傷したものである。					49
2017	9	19～ 20	仕込み中、スープを作っている際に、手を滑らせスープのガラが右手中指に刺さり負傷した。	24	140201	8	—	
2017	9	10～ 11	ペットボトル収集作業の為、ごみ置き場の扉を開けて足を踏み入れた時に、入り口付近にあったガラスの破片を踏んでしまい、左足かかと辺りに刺さり負傷したものである。	28	150109	8	30～ 49	
2017	9	11～ 12	敷地の営繕作業中、ハシゴの角が屋根瓦に接触して瓦1枚が落下、落下した瓦に頭部が当たり負傷、頭頂部裂創と診断された。	74	140101	4	10～ 29	
2017	9	22～ 23	店舗内厨房で割れた丼を片付けている時に、破片を持って片付けている際に、他の従業員とぶつかって持っていた破片が右手薬指に刺さり、数センチ切ってしまい、腱を損傷したものである。	21	140209	8	30～ 49	
2017	9	7～8	給食センター調理室で、笹型白身魚フライ投入中（2人作業中）、両手で投入している際、片手に2、3個持って投入していたため、その内の1つを油に落としてしまい手袋と腕抜きの間の手首が出ていたところに油がはねて火傷した。	59	10109	11	50～ 99	
2017	9	13～ 14	当社構内の屋内処分場にて、二重ガラスサッシを地図に置き、しゃがみ込んだ姿勢で、右手にゴム手袋をした上でハンマーを持ち、ガラスの破碎作業を行っていた、サッシの右端のガラスを破碎する際、力を込めハンマーを振り降ろしたところ、ガラスを割った勢いが止まらず、サッシに残っていたガラス破片に右手中指が当たり裂傷を負ったものである。	56	150102	8	10～ 29	
2017	9	14～ 15	トラックステーションの厨房で、グリスフィルターの交換及びフード清掃をしている時に、フライヤーの上にダンボールと板を通して作業をしている時にダンボールと板がすべり、その上に右足をおいていた為、フライヤーの中に右足が落ちたものである。	54	80409	11	10～ 29	
			店内揚げ物調理場にて発生、フライヤー庫内の調理用油の量が調理するための適正量よりも多かったため、適量にしようとして、					

2017	9	17～ 18	調理直後の庫内の油を耐熱用ガラスカップに一旦注いだのち、排出缶に注ぎ入れようとし、その際に、カップから油がこぼれ、持っていた左手にかかってしまったため火傷をした。	17	80209	11	10～ 29
2017	9	9～ 10	店内惣菜部の厨房において、スチームコンベクションで焼きあがったハンバーグを作業台下に置く際、ミトンをしていない方の手で握り、右手の指をやけどした。	67	80209	11	10～ 29
2017	9	20～ 21	ブッフエレストランに提供する料理を大皿（39cm×39cm、3.5kg）に盛り付けるため、大皿を左手で持ったところ、皿の裏に欠けた箇所があり、左手中指第一関節辺りを切って負傷した。	49	140101	8	100 ～ 299
2017	10	14～ 15	ゴミステーションにて、ごみ収集作業中、不燃ごみで出ていたプラ衣装ケースを塵芥車に積み込んだ際、プラ衣装ケースについていたキャスターが飛んできて左目にぶつかった。	55	150103	4	50～ 99
2017	10	14～ 15	凍っているかずのこわさび漬けの仕越し（発泡スチロールの箱3kg、12箱分を小分けにパックする作業70パック程作成）を1時間ほどしていた。その時に右手の指2本（中指・薬指）が凍傷になり水ぶくれができた。作業の時は、薄手のビニール手袋をしていた。	65	80209	11	50～ 99
2017	10	14～ 15	外溝工事中、4t車の荷台から縁石（民地石17kg）を降ろす作業をしている際、手にはめていた軍手が荷台に引っ掛かり、縁石を左足に落としてしまった。	51	30199	4	10～ 29
2017	10	16～ 17	倉庫に書類が入った箱を置きに行き、倉庫から出ようとした時、床に敷いてあったダンボールの上で足を滑らせ、左ひざを捻って転んでしまった。	35	40301	2	30～ 49
2017	10	11～ 12	大きな鍋に入った麺つゆを運び台の上に置こうとした際、盛付台のフチに鍋があたり、鍋に入っていた麺つゆが足にかかってしまった。重い鍋を無理に持とうとしたことが原因である。	23	140209	11	10～ 29

2017	10	18～ 19	洗い終わったグラスを運ぶ際、掃除中だったためフタの開いていた側溝に気付かず落ちてしまい、持っていたグラスが落ちて割れたところに倒れて、右手首から肘にかけてと顎を切った。	16	140201	8	10～ 29
2017	10	14～ 15	調理場で魚をさばいている時に、右手人差し指に魚のヒレがささり取れなかった。	41	140101	3	30～ 49
2017	10	13～ 14	製作所内、2階エレベーター前でダンボール、ゴミ等の処理をしていた時、1階の指定場所へ運搬するため、台車に乗せる際、ダンボールとダンボールの間に指を突っ込んでしまい、右手中指を負傷した。	64	150101	3	50～ 99
2017	10	1～2	店舗厨房で、タレ漉し作業中にオーダーが入り、調理をするために、作業をしていた肉鍋前から移動しようとした時に、床面にこぼれた牛丼のタレで滑り、転倒した。その際、床面に置いてある牛丼のタレ（高温）が入った容器に足が当たり、容器が倒れ、こぼれたタレが右半身にかかり、火傷を負った。	54	140201	2	10～ 29
2017	10	1～2	ロングレール取替作業に従事するために線路内に立ち入ったが、上り貨物列車が接近してきた為、上り線線路脇に退避し、車両が通過するのを待っていた時、何らかの物体が飛しょうして、右顔面に当たり負傷した。	48	30104	4	10～ 29
2017	10	14～ 15	派遣先にて2人1組のペアで自動車ガラス（縦1m横1.5m10kg）を持ち上げる作業中、いつもと違うペアの方と作業をしたところ、スピードが速かった。その為、ガラスを取り出す際に誤って指をぶつけた。	50	170101	3	300 ～ 499
2017	10	14～ 15	2人1組のペアで自動車ガラス（縦1m横1.5m10kg）を持ち上げる作業中、いつもと違うペアと作業をしていたが、スピードが違った為、ガラスを取り出す際に誤って指をぶつけてしまった。	50	11502	3	10～ 29
2017	10	15～ 16	取引先にて、荷物（鋼材）の下にあったコバン木を外そうとしたところ手が滑り、手を挟んで負傷。	42	40301	7	1～9

2017	10	13～ 14	配送先にて荷物を降ろすため、トラックの観音扉を開けた際に内部に立てかけてあったコンパネが落下してきて、左足の甲に当たり負傷した。	40	40301	4	30～ 49
2017	10	10～ 11	前工程を検査台にて検査終了後、隣の台場にケースを置く際に左手が滑り、ケースと台の枠にて右手を挟んで受傷した。（ケースを落としそうになったので右手を出した。）	43	170101	4	500 ～ 999
2017	10	13～ 14	お客様が打った球がミスショットとなり、右前方付近でボールを確認するために立っていたキャディの左側頭部に当たった。	49	140301	4	100 ～ 299
2017	10	10～ 11	コンクリート製品を製造現場にてアンカープレートをインパクトレンチを使用し取り外す作業中、ボルトを外す際、通常は少しずつ緩め、少し緩んだところでプレートを抑えて安全にボルトを外していたが、一気にボルトが緩み、「プレートが落下」。落下したプレートが体の（足の）方向に倒れてきたため、足を除けたが間に合わず、プレートが足の上に倒れ挟んだ。	65	170101	5	30～ 49
2017	10	17～ 18	工場内の階段で二階から一階へ階段を下りている時、階段下の脇にガラスが立てかけてあった。置いてある事を知らずに、階段を下りていてガラスにあたり、ガラスが倒れた。倒れたガラスを踏んだ時に、足をひねった。	58	10902	19	1～9
2017	10	16～ 17	当社工場内を移動中、床にあった鋼材料の入ったプラスチックケースにつまずき、転んだ時に床に右ひざを打ちつけて負傷した。	63	11209	2	10～ 29
2017	10	13～ 14	リフォーム工事の敷地内で屋根部材を荷揚げ機に作業中、足場に立て掛けていた屋根材の一部を持ち上げた際、突風により残りの屋根材が倒れ、下半身が下敷きとなった。	42	30309	6	1～9
2017	10	9～ 10	集荷先で、トラックに荷物の積み込み作業をしていた。荷物をトラックの荷台に持ち上げるため、左ひざに荷物をのせて持ち上げた際左ひざの上のあたりを切った。	59	40301	8	1～9

2017	10	16~ 17	倉庫内にて尅のワイヤー硝子1枚をパレットから取り出しクレーンに吊り下げて自動切断機に積載する作業時に、パレットの固定が不安定な状態で木の蓋を取り外した際、5枚すべての硝子が倒れてきて、狭い場所での作業も重なり避けきれず左ひじ上を損傷する。	32	80109	5	30~ 49
2017	10	16~ 17	1000枚程重ねて機械にセットしていた紙が、スライドする感じで倒れてきたため、思わず手で受け止めた。このとき、受け止めきれずに右足が下のローラとその紙に挟まれた。	28	170101	7	30~ 49
2017	10	16~ 17	1000枚程重ねて機械にセットしていた紙が、スライドする感じで倒れてきたため、思わず手で受け止めた。このとき、受け止めきれずに右足が下のローラとその紙に挟まれた。	28	10701	7	10~ 29
2017	10	9~ 10	工場内の皮干し場で皮を干す作業をしていた途中で、皮をつるす金属性のフックで手を負傷した。重い皮をフックにかける時、掛け損ねて負傷した。	60	10807	8	1~9
2017	10	5~6	ホースの製造で、ホースの芯となるマンドルを引き抜く作業をしていた。ホースの端に円周の切れ目を入れて切り離し、左手でホース本体、右手で切り離したホースを握り、切り離したホースを本体から引き抜く作業中に、右肩甲骨付近に痛みが発生した。当初は筋肉痛であろうと被災者は思っており、いずれ治ると思っていたため出勤していたが、後日寝返りもできないような状況となり、受診した結果、右第5肋骨疲労骨折と診断された。	41	170101	19	300 ~ 499
2017	10	5~6	ホースの製造で、ホースの芯となるマンドルを引き抜く作業をしていた。ホースの端に円周の切れ目を入れて切り離し、左手でホース本体、右手で切り離したホースを握り、切り離したホースを本体から引き抜く作業中に、右肩甲骨付近に痛みが発生した。当初は筋肉痛であろうと被災者は思っており、いずれ治ると思っていたため出勤していたが、後日寝返りもできないような状況となり、受診した結果、右第5肋骨疲労骨折と診断された。	41	10806	19	50~ 99

2017	10	15～ 16	営業所倉庫2階に於いて、当日出庫貨物の準備作業をしている時、貨物（塩ビフィルム、円筒形、径30cm、高さ1.8m、重量約80kg）を保管棚から、出庫用パレットに移動しようとした時（転がし作業）、体のバランスを崩し、貨物が倒れそうになった。貨物を支えようとして、腰部に急激に負担がかかり当該傷病発生の原因となった。	53	40301	19	10～ 29
2017	10	9～ 10	当該事業所において、昼食の魚を並べるために、クッキングシートを敷いたホテルパンを10枚互い違いに重ねてシンクとシンクの間に置いていた。それが落ちてきて咄嗟に足が出てしまい、足のすねに落ちた。1枚でも割と重たいので落ちてきたはずみで左足を捻挫した。	24	80209	4	10～ 29
2017	10	10～ 11	自社作業場にて、現場から外して持ち帰った鋼製建具の硝子作業を行う際、朝から降っていた雨で濡れた障子を持ち運び、濡れてしまった手袋で硝子を外した時に水で硝子が滑り右手親指のつけねを深く切るケガをした。	45	80109	8	1～9
2017	10	15～ 16	7階のリネン庫で、後片付けを終え、別階の後片付けの応援に行こうと急いで方向転換したときに、不潔リネン袋と不潔リネン袋の間に足を挟み、強引に足を抜こうとしたところ、抜けず、そのまま前方に転倒した。転倒してその際左手を突いた。	58	150101	2	30～ 49
2017	10	13～ 14	インコース7番ホールで、お客様が打った2打目のボールが木に当たり、はね返ったボールが、キャディの額に当たり負傷した。	47	140301	4	50～ 99
2017	10	10～ 11	工場で、割裁したサバの腹部から腹ワタを除去する作業中に、右手小指の爪の間にサバの骨を刺し負傷した。	48	70209	8	1～9
2017	10	15～ 16	ロールボックスに畳を片付け・整理中に、積み付けを、奥からつめてきた時に、下側を奥に押したら、畳が前に倒れて、背中から腰の部分でへの字に曲がって、腰が伸びてあばら骨とおなか付近が痛く歩くことが出来ないぐらいだった。	60	40301	5	50～ 99

2017	11	10～ 11	客室内で清掃中ワイングラスを洗浄し拭き上げを行っていた際、手に力が入り過ぎグラスが割れ右手薬指を切傷した。	19	150101	8	50～ 99
2017	11	15～ 16	駐車場の舗装工事において、鉄製のレーキという道具を使用して同所に敷いた高温のアスファルトを平らにならす作業中、底の厚い安全靴を履いていたものの、適宜高温の場所への出入を調整しなかったため、両足の裏部分に水膨れができる熱傷を負った。	46	30199	11	10～ 29
2017	11	12～ 13	町道で、当社の作業員が車両横転し積んでいたコンクリート殻が道路に散乱した。その片付け作業中にコンクリート殻に右薬指を挟み負傷した。	34	150102	7	10～ 29
2017	11	11～ 12	敷地内建物の東側、外に保管してあるのぼり旗をさすコンクリート製の土台（20～30kg）を約5メートル引きずり社用車の軽ワゴン車荷台に積もうと持ち上げた時に「ポキッ」という鈍い音とともに背中に激痛を感じ、地面に滑るように倒れ込んだ。救急車により救急搬送され診察を受けた結果、第二腰椎新鮮圧迫骨折であると分かった。	58	11703	19	50～ 99
2017	11	11～ 12	出張先現場の木工作业場において、縦切り昇降盤使用時に、不注意で右手親指を刃に接触させてしまった。縦切昇降盤、カバーなしテレビ局の大道具（セット）の作成中、長尺物を縦切していたとのことである。	50	11703	2	30～ 49
2017	11	16～ 17	片付け作業をしようとしたところ、置場内入口の段差で躓き、よろけてしまった。その際バタ角にぶつかり、背中と首を痛めた。	56	80409	19	30～ 49
2017	11	10～ 11	事務所で荷おろしの際に、手に持った荷物を誤って右足に落とし受傷した。基本動作の励行を更に徹底していく。	36	80209	4	1～9
2017	11	23～ 24	出勤後、作業準備に取り掛かりカゴを持って、ドアを開ける時に、カゴからガラスドアをあて開こうとしてぶつかった衝撃でガラスが割れて、左手甲にガラスが当たり切ってしまった。	32	50101	8	100 ～ 299
			靴を脱いで更衣室へ入ろうとした際に、段差に1cm程出ているマッ				

2017	11	8~9	トに足が引っ掛かりバランスを崩して、左足甲を床面につけた状態で転倒した。転倒時は捻挫と思っていたが腫れがひかないため、後日に整形外科を受診したところ骨折と診断された。	52	120109	2	50~ 99
2017	11	14~ 15	塩ビパイプ売場で、塩ビパイプ2M（VU管）が重量に耐えられず、棚から落下した。落下したパイプを売場に陳列するため、社員、技能社員、積み込みアルバイトの3名で作業している際、VP100が本人の足元に落下し負傷した。その日に病院へ行き、骨挫傷と診断された。	54	80209	4	30~ 49
2017	11	9~ 10	同店内倉庫にて、商品配達準備作業中、配送用トラックに商品（瓶ビールケース）を積み込んでいた時、誤って足を踏み外し荷台から地面に落下し、その際に手に持っていたビール瓶が割れ、右手首を切創し受傷したものである。	46	80109	4	10~ 29
2017	11	15~ 16	2階梱包出庫エリア内でエラーでブザーが鳴り、走った際ゴムマットに躓いて転び右肘を打った。	45	80109	2	100 ~ 299
2017	11	13~ 14	ベーカリー作業場にて、ホイロからパンを出す時冷皿に6斤分（鉄板11kg）をのせて、持ち上げ振り向いたところ、腰に痛みが走り動けなくなった。	44	80201	19	100 ~ 299
2017	11	16~ 17	印刷用コートボール310g（材料）幅850mm×流1150mmの寸法を幅815mm×流910mmに断裁の為作業をした。1600枚断裁の予定でスタートし、100枚が1包装されている為重さは約30kgになる。最初の1包装を開梱し100枚を一度に持ち上げた時に肩を痛めた。改善、850×1150の寸法の紙は取り扱う材料の中で一番大きな紙寸法の為、今後は開梱後、半分の50枚で断裁するようにする。これにより肩への負担がなくなる。当初は休業がなかったが、後日入院することになる。	56	10602	19	50~ 99
2017	11	21~	本店の厨房内で、清掃していた際、落ちていたガラスの破片を踏み、靴底を貫通し右足の裏に刺さった。1cm程切った為、1針縫う	19	140201	9	30~

		22	治療を病院で受けた。					49
2017	11	17～ 18	作業所前に積んであった外壁材を移動させようと持った時に、小雨が降って濡れていたため手が滑って外壁材が落下して、右足の親指に当たってしまった。	27	30201	4		1～9
2017	11	10～ 11	置場で足場材を積み込み時、荷が崩れ足が挟まり左足を骨折した。	27	30209	5		1～9
2017	11	14～ 15	現場においてU型側溝を180度回転させようと、バールで少し上げて木を入れたが、木の入りが浅かったので、もう少し木の中に入れてようと再度バールで上げた時にバールが滑って外れ、U型側溝が落ちその衝撃で木も外れた。被災者は瞬間的に手を引いたが間に合わず、U型側溝と道路の間に右手中指を挟んで損傷した。	50	30106	7		1～9
2017	11	9～ 10	ガラス面取機内にて、不良ガラスが出た為ガラスを捨てに行った際に、捨て板箱の角にガラスをぶつけて割れたガラスが手の平に落ちて怪我をした。	27	170101	8		50～ 99
2017	11	18～ 19	資材置場にて、トラックの上でラック上の材料を整頓していたところ、材料が落下した。左足首がトラックの荷台と材料で挟まった。	16	30309	4		30～ 49
2017	11	12～ 13	パイプ倉庫内にて積み込み作業中、300A塩ビパイプを天井クレーンにてトラックの荷台に積み込み中上手く積み込みが出来ずに、後方のあおりに掛かりはみ出して降ろしはみ出したパイプを手で押し込み荷台へ納めようとした際、パイプが落ち込みパイプとあおりの間に指が挟まれて切開、骨折する。	43	40301	7		10～ 29
2017	11	11～ 12	プラットホームで不燃ごみの展開検査（ごみの中の処理不適物を抜き出す）作業中、ごみの中の鋭利な物が安全靴の上から刺さり、左足親指の付け根を切創した。	34	150102	9		30～ 49
		17～	製品積み込み場にてトラックに商品を積み込み荷物を固定後に荷台から降りた時に、足元に荷物を固定するラッシングベルトがあ					100

2017	11	18	り、誤ってベルトの上に降りた際に、足首を捻って負傷したものである。	35	80101	19	～ 299
2017	11	15～ 16	店内にて、一升瓶の酒を品出しをしている最中に手が滑り、右足に落としてしまった。仕事後に病院に行き右足親指の骨折との診断を受けた。	47	80209	4	10～ 29
2017	11	11～ 12	作業場内で、商品を袋詰め中に右腕をひねり、痛めた。	54	10101	19	～ 299
2017	11	16～ 17	和食堂の厨房内で海老の皮むきの仕込み中、海老のトゲが右手中指上部に刺さり当日夜より痛み、腫れも伴ったので翌日診察したところ海老の毒との診断が出た為、その後、通院の為、欠勤となる。	57	140201	8	10～ 29
2017	11	11～ 12	高さ80cmの作業台に床から重い物を二人で持ち上げ作業台の上に来たところ、相手が先に手を離れた時左肩に激痛が走った。	67	80109	19	1～9
2017	11	16～ 17	倉庫にて、1.5?の鉄バケツ（幅1.8m、奥行0.9m、高さ0.9m）内の廃棄物を選別中、中から取り出そうとした人工大理石の洗面台（長さ1.0m、幅0.5m、重さ20kg程）の縁を持って持ち上げ、左手をバケツの縁に掛け踏ん張り、右手1本である程度まで引き出したものの手が滑り落下、洗面台とバケツの縁に挟まれる形で左手薬指第一関節を骨折、裂創する。	58	150102	4	10～ 29
2017	11	11～ 12	検品済みの製品をパレティーナに移す際に、規定よりも多い数を持って作業をしていた。急いでいた為、無理な姿勢のまま腕を振ってしまい、製品の重量で肘を捻った。	46	11709	19	1～9
2017	11	21～ 22	洗い場にてビールグラスを洗浄中、取っ手が割れ右手中指と薬指を切傷した。止血したが中指の出血が多かったため、病院へ行き治療を受ける。	35	140201	8	50～ 99
		11～	解体中サッシのガラスを外していて誤って左手を切った。すぐ他				

2017	11	12	の者に皮手袋を与え事故防止に努めた。	27	60209	8	1～9
2017	11	11～12	8番ホールのティグラウンド（レギュラーティ）で前の組のプレーを待っていたら、7番ホールでプレーしていたお客様の左バンカーからのアイアンショットが曲がり、右肩甲骨辺りに直撃した。痛みがあったのですぐに病院へ行った。	25	140301	4	100～299
2017	11	8～9	プラスチック製のカゴ（1m×70cm）を運んでいた為、足元が見えず、台の角に左膝をぶつけた。	69	80201	3	100～299
2017	11	21～22	店舗調理場内において、割れ物入れの中に物を落としたかもしれないと思い右手を入れたところ、割れ物入れの中に入っていたガラスの破片が右手中指と接触してしまい受傷したものである。	20	140201	8	30～49
2017	11	13～14	加工場下処理室にて、鯛の下処理作業中、手袋と軍手をしてエラを取った時にチクッと痛みを感じ、確認したが、出血もなく、何も刺さっていなかったので仕事を続けた。翌日、少し痛みがあったが応急処置をし、翌々日まで仕事をした。痛みと腫れがひどくなったので、病院の救急外来を受診した。次の日に別の病院を受診した。点滴治療をしたが腫れが酷く、化膿した部分を切開した。	62	10102	8	30～49
2017	11	19～20	出勤してキッチンに入った時、滑って転倒しガスコンロに手が掛かり湯切り用の鍋が倒れて、顔と体にお湯がかかった。	52	140201	11	1～9
2017	12	12～13	当社店舗裏の廃棄物置場に於いて、廃棄する発泡スチロールの容器（縦約30cm、横約45cm、高さ約20cm）を片付けていたところ、室外の冷凍機（縦約60cm、横約1.2m、高さ約1m）の上に3段積みとして積んでいた発泡スチロールが突風にあおられて崩れた際、発泡スチロールの上に重し用として載せていたタイルレンガ（約3kg）が、約1.6mの高さより右足に落下し、親指等を負傷したものである。	45	140201	4	10～29

2017	12	18~19	施設4階フロア内ミニボウリングにて発生した負傷である。球が所定の位置にセットされておらず、確認したところ、ディビジョン内で詰まっているのを発見したため、ディビジョンのカバーを開け除去しようとした際、ピン奥に球が1つ残っていたことを確認せず、また停止スイッチを作動させずに作業していたために、ピン側から機械で玉が勢いよく送り出され、詰まっていた球と送り出された球の間に左手小指が挟まれてしまった。	18	140309	7	100 ~ 299
2017	12	20~21	店舗地下冷凍庫にて在庫確認中、冷凍庫の中の箱から出してあったチキンが不安定だった為、チキンが落下し、落下したチキンを取ろうとした際に、チキンに左手中指が挟まれ受傷した。怪我をした当初は病院へ行くほどではなく、自分で手当てをしていたが、よくならなかった為、後日病院へ行った。	19	140201	4	30~ 49
2017	12	17~18	調理場で、左手にグラスを持ち、右手に布巾をもって、グラスの水滴をふき取り作業中、グラスが割れてしまい、右手の薬指を切ってしまい被災した。	62	140309	8	30~ 49
2017	12	10~11	自社作業場でガラス補修の為、ガラス厚5%、1,700×1,300位のガラス切断時、右親指を切り、ガラス破片が入ってしまった。	59	80203	8	1~9
2017	12	16~17	会社倉庫内で、トラックのスタッドレスタイヤを整理するため移動させていた。荷台からタイヤを降ろしてもらう際、確認が不十分なまま受け取ろうとしたため、タイヤがバウンドしたことに気づくのが遅れて、タイヤが足にあたってしまった。	67	150102	6	10~ 29
2017	12	10~11	マイナス15℃の冷凍倉庫内でカップアイスを袋に詰める作業に従事していた。朝から作業を開始し、午前の休憩時に手袋を外すと両手の指先が白く変色している事に気付いた。若干痛みはあったが、午後まで仕事を続けた。翌日、指先の痛みが消えず水ぶくれも出来てきたため病院を受診し、凍傷と診断された。	54	50101	11	30~ 49
			派遣先の冷凍倉庫内（マイナス15℃）において、布手袋2枚を重ねて着用し、カップアイスの袋詰め作業を朝から行っていたとこ				

2017	12	10~11	ろ、午前の休憩時に手袋を外すと、指先（右手5本、左手中指・環指）が白く変色し被災した。被災後、若干痛みがあったが、終業時間まで勤務し、翌日になっても痛みが消えず水疱も出来てきたため受診した。	54	170101	11	100 ～ 299
2017	12	18~19	店内フライヤーの前で、溶解済みのショートニング補充中、缶から直接補充しようとして、ショートニングがかかり、右手示指・中指・薬指・小指を受傷した。	18	140201	11	10～ 29
2017	12	20~21	店舗洗い場において、洗い物をしている際に水を張ったボックスに洗い物がたまっており、その中に割れたとんすい（鍋の取り皿）に気が付かず右手を入れてしまい手の平を切り受傷したものである。	19	140209	8	30～ 49
2017	12	14~15	洗浄作業を行うため、切断したガラスインゴットを2人でばらす作業を行っていた。切断したガラスインゴットを固定用専用板の端まで2人でずらす際、被災者がバランスを崩し、専用板の端からガラスインゴットがずり落ちた時に、鋭利になっている切断面で負傷した。	38	11303	8	300 ～ 499
2017	12	14~15	派遣先において、洗浄作業を行うため、切断したガラスインゴットを2人でばらす作業中、切断したガラスインゴットを固定用専用板の端まで2人でずらしていたところ、被災者がバランスを崩し専用板の端からガラスインゴットがずり落ちた際、鋭利になっている切断面で、右手環指及び右手小指を負傷した。	38	170101	8	100 ～ 299
2017	12	18~19	パントリーにておでん鍋を運ぶ際、汁が満杯に入っていたので、蓋のすき間から高温の汁が右手にかかった。	58	170209	11	30～ 49
2017	12	15~16	当社機材センター内にて、ミキサーの清掃作業中、セメントが飛び誤って両目に入った。	56	30199	4	1～9
			本社工場屋外において、幅35cm・直径1.5mのロール状に巻いてあるコンベヤベルト（重量約700kg）を1人で所定の場所に片付けて				10～

2017	12	15~16	いた。その際、コンベヤベルトが横倒しになりそうになり、横倒しを防ごうとして倒れる方向に進入したが、支えきれずにコンベヤベルトの下敷きになり、右足の甲を負傷した。	25	10806	5	29
2017	12	9~10	本社冷蔵庫荷捌き場にて、冷凍鮪の出庫作業中、保管パレットの中の冷凍鮪を手鉤で出し、トラック荷台に入れようとしたところ、右手に持った手鉤が冷凍鮪から外れたため、それを左手で支えようとしたところ、トラック荷台と冷凍鮪に左手が挟まれ負傷した。	18	80109	7	30~ 49
2017	12	9~10	ゴルフクラブ5番ホールにてキャディ業務中、7番ホール方向から飛んで来た球が、左足くるぶし付近に当たり負傷した。飛球元を捜したものの、特定には至らなかった。	38	140301	4	50~ 99
2017	12	20~21	被災者が製品冷蔵庫内でプラッターに乗車し、荷役作業を行なっているとき、扉開閉用の紐が、プラッターのマストに挟まった。被災者はこの状態に気づいておらず、プラッターを後退させたところ紐が切れ、その反動で飛んできた紐が被災者の左目を直撃した。	47	10109	6	30~ 49
2017	12	19~20	敷地内で起きた労災事故の件で、警察への状況説明等事故対応をしている途中、荷台が揺れ、倒れてきた石膏ボードに挟まれた。倒れてきた石膏ボードの角が顔面を直撃し、右頬骨に骨折、裂傷等の傷を負い、トラックの側面に頭部を打ちつけた。	49	40301	5	30~ 49
2017	12	20~21	店舗厨房で食材の補充作業をしていたところ、食材保管庫に近いコンロに置いてあった調理中の油が入ったフライパンの柄が被災者の身体に当たり、はずみでフライパンが落下し、被災者の右足側面から甲にかけて熱傷を負わせた。	27	140201	11	10~ 29
2017	12	16~17	プレス機から製品4枚を取り出し、台車に乗せ替える作業を2人で行っているときに、2枚を台車に乗せるとき、両手をパネル（製品）とパネルの間に挟んだ。	51	11209	7	100 ~ 299
			派遣先のプレス機の前にて、プレス機のパネルを台車に降ろす作				

2017	12	16~17	業中、1枚目のパネルを降ろし、2枚目のパネルを重ねる際に手を挟み、両手親指から手首にかけて腫れた。	51	170101	7	10~ 29
2017	12	19~20	事業場の洗い場で、手に取ったガラスが割れていることに気づかず洗浄したため、右手の薬指と小指の間を裂傷した。	20	140201	8	30~ 49
2017	12	21~22	閉店作業時、汚れの落ちにくいカレーポットに熱湯を入れ、足元に置いていた。それを誤って蹴飛ばし、中の湯が靴に入って、左足甲と足首を火傷した。	22	140201	11	10~ 29
2017	12	11~12	被災者が、インテリアコーナーにて切売り用テーブルクロスの商品出し作業をしていたところ、途中で商品を落としそうになり、慌てて左手で受けようとした際に什器の棚板と商品（テーブルクロス）との間で指を挟み、左手薬指を骨折した。	40	80209	7	50~ 99
2017	12	10~11	工場内にて、アクリル板（1300×1500×500）の足元を溶接中に、アクリル板が倒れかけたため、右膝をついて支えたところ、アクリル板が右膝に当たり負傷した。	27	11201	5	1~9
2017	12	9~10	惣菜冷凍庫内で、材料を取り出そうと奥のグラタンに手をかけた際、近くに積まれていた材料が倒れてきて、腰を負傷し少し捻じられた。	64	80201	5	300 ~ 499
2017	12	12~13	作業場の土場で、ラックに入れている瓦を上と下で片づけ中、上の瓦が荷崩れし、下で作業をしていたところに瓦が落下し、右手を負傷した。	28	30209	4	1~9
2017	12	17~18	当社敷地内のゴミ置き場において、ゴミ分別作業中、瓶入りの袋を開けたところ、割れた瓶が入っており、破片の先が指の根元に当たり、切れて出血した。	65	10106	8	10~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html